

AWS RE:INVENT

re:Cap





Recap: InterBEE 2023

メディア&エンターテインメント業界向け

Norihiko Imura

Solutions Architect

Amazon Web Services Japan G.K.

2024/2/1

自己紹介

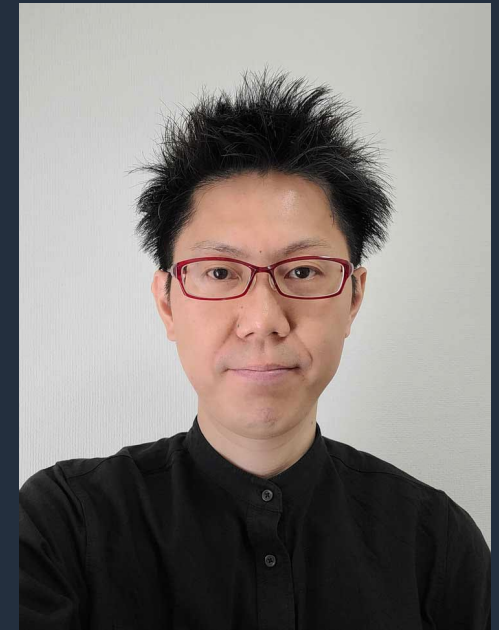
井村 紀彦

アマゾンウェブサービスジャパン
ソリューションアーキテクト

メディアのお客様を中心にご支援しています。

クラウドの楽しさを一人でも多くのお客様に体験
していただきたいです。

好きな AWS サービス
AWS メディアサービス



アジェンダ

1. InterBEE 2023 開催概要
2. AWS 展示ブースのご紹介
3. 出展者セミナーのご紹介
4. ブースセミナーのご紹介

InterBEE 2023 開催概要



Inter BEE 2023 - 10回目 出展

Create. Deliver. Monetize.



AWS の M&E 業界向けソリューション

Create. Deliver. Monetize.



コンテンツ制作



放送



メディアサプライチェーン
& アーカイブ



D2C
& ストリーミング



データサイエンス
& 分析

Inter BEE 2023 共同出展パートナー 9社

unixon

Traffic Sim

ATEME
Captive your audience

KKCOMPANY

PLAY

SONY

Orchestrating a brighter world
NEC

TOSHIBA

BRIGHTCOVE®

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/jpmne-interbee2023-aws-partners-introduction/>



Inter BEE 2023 | AWSブースマップ

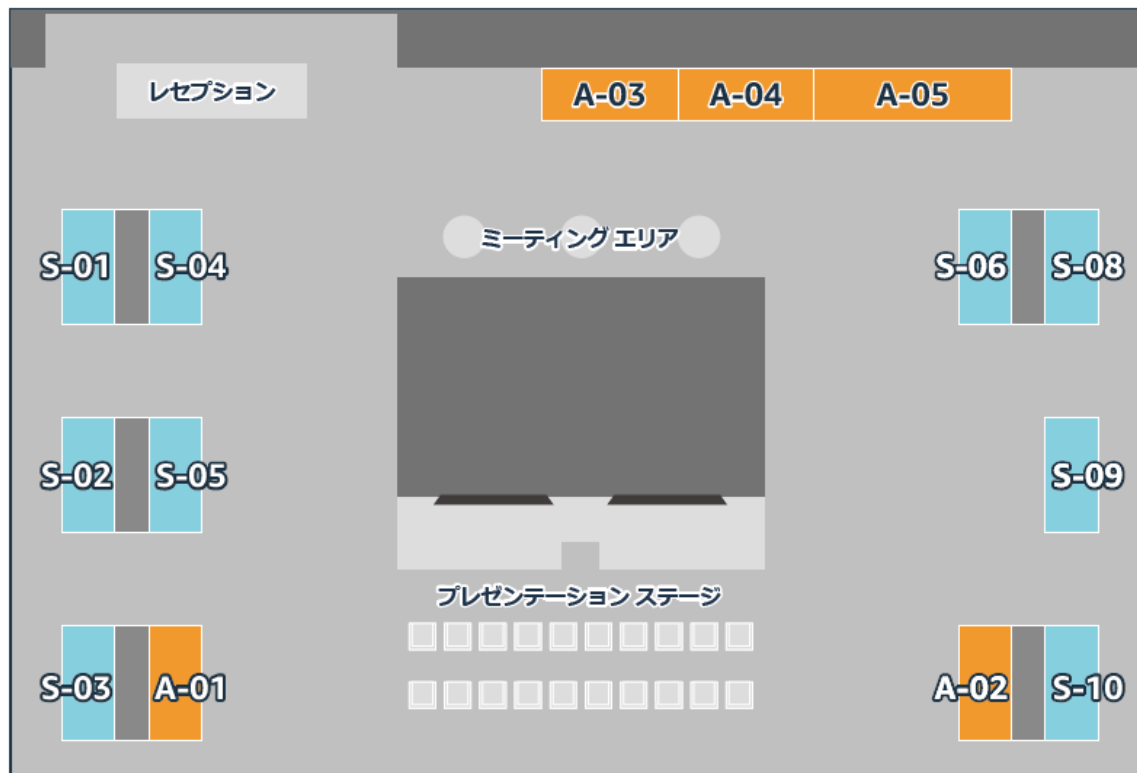
S-01 **KKCOMPANY** **KKCompany Japan 合同会社**
 「動画の方でビジネスを動かす」企業向け動画配信プラットフォーム・BlendVision One をご紹介。また、AI に特化したコンサルティング / SI を提供するサービス・GoingCloud も同時展示いたします。

S-02 **unixon** **株式会社ユニソンシステムズ**
 クラウド配信(編成、営業、CM、放送)、番組入稿、自動作業などの開発事例展示。クラウドで共通化されたメディアワークフローと、放送局の主要業務における AI を活用する未来についてご紹介します。

S-03 **SONY** **ソニーマーケティング株式会社**
 撮影〜クラウド共有・コンテンツ管理〜アーカイブまでのワークフローを、ワンストップサービスでご提供します。幅広いカメラや多様なフォーマット・コーデックに対応しており、さまざまな関係者へのコンテンツ展開を、素早く対応することができます。

S-04 **BRIGHTCOVE** **ブライトコブ株式会社**
 スマホからコネクテッド TV まで多様なデバイスに対して、高品質な動画ストリーミングと豊富なカスタマイズオプションを提供し、コンテンツの魅力を最大限に引き立てます。

S-05 **ATEME** **Ateme**
 ATEME(アテム) が提供する、集信から CDN までエンドツーエンドに対応した動画配信ソリューションの展示。オンプレミス、クラウドなど、プラットフォームに依存しないデプロイメントを実現します。



S-06 **TOSHIBA** **東芝インフラシステムズ株式会社**
 AWS 上に展開したパンクアプリケーションや VIDEOS core によって、クラウド上でのマスター準備・送出運用を体験頂ける展示を行います。

S-08 **Traffic Sim** **株式会社トラフィック・シム**
 クラウドマスターでご利用いただけるマルチビュー / 同録 / アナライズや新製品の電流モニタリングなど、「難しいをひも解く」トラフィック・シムのクラウドサービスをご紹介します。

S-09 **PLAY** **株式会社 PLAY**
 PLAY CLOUD の中からメディアサプライチェーンを支援する KRONOS DRIVE をご紹介いたします。コンテンツレイク、ファイル共有、動画編集などさまざまな機能をデモを交えて展示します。

S-10 **Orchestrating a brighter world** **NEC** **日本電気株式会社**
 制作現場のワークフロー改善を実現する、クラウド上での素材管理を展示。NEC の素材管理システムを AWS 上で実現し、実際の画面を見ていただくことが可能です。

A-01 **aws** **コンテンツ制作**
 映像制作におけるクラウドの活用として AWS 上で動くコンテンツ制作のソフトウェアを展示します。実際に触って体験いただけるコーナーです。

A-02 **aws** **データサイエンス & AI / ML**
 画像生成から文章要約まで、Amazon SageMaker と Amazon Bedrock を使って構築された生成系 AI を活用したソリューションを体験いただけます。

A-03 **aws** **D2C & ストリーミング**
 300 ミリ秒以下の遅延でリアルタイムストリーミングを実現できる Amazon IVS の新機能や AWS Elemental MediaPackage v2 での Low-Latency HLS (LHLS) を紹介します。

A-04 **aws** **メディアサプライチェーン & アーカイブ**
 次世代メディアサプライチェーンを実現するメディアアセット管理ソフトウェアとストレージ、機械学習などそこで利用される AWS サービスをご紹介します。

A-05 **aws** **放送**
 国内外パートナーソリューションを連携し構築した、クラウドライブ制作を実現する環境にてライブ制作に不可欠な主要機能をご紹介します。また、日本の放送に焦点を当てたクラウドプレイアウトを構築する取り組みをデモ展示します。

AWS 展示ブースのご紹介

A-01



コンテンツ制作

映像制作におけるクラウドの活用として AWS 上で動くコンテンツ制作のソフトウェアを展示します。実際に触って体験いただけるコーナーです。

A-02



データサイエンス & AI / ML

画像生成から文章要約まで、Amazon SageMaker と Amazon Bedrock を使って構築された生成系 AI を活用したソリューションを体験いただけます。

A-03



D2C & ストリーミング

300 ミリ秒以下の遅延でリアルタイムストリーミングを実現できる Amazon IVS の新機能や AWS Elemental MediaPackage v2 での Low-Latency HLS (LHLS) を紹介します。

A-04



メディアサプライチェーン & アーカイブ

次世代メディアサプライチェーンを実現するメディアアセット管理ソフトウェアとストレージ、機械学習などそこで利用される AWS サービスを紹介します。

A-05



放送

国内外パートナーソリューションを連携し構築した、クラウドライブ制作を実現する環境にてライブ制作に不可欠な主要機能をご覧いただけます。また、日本の放送に焦点を当てたクラウドプレイアウトを構築する取り組みをデモ展示します。



1. コンテンツ制作

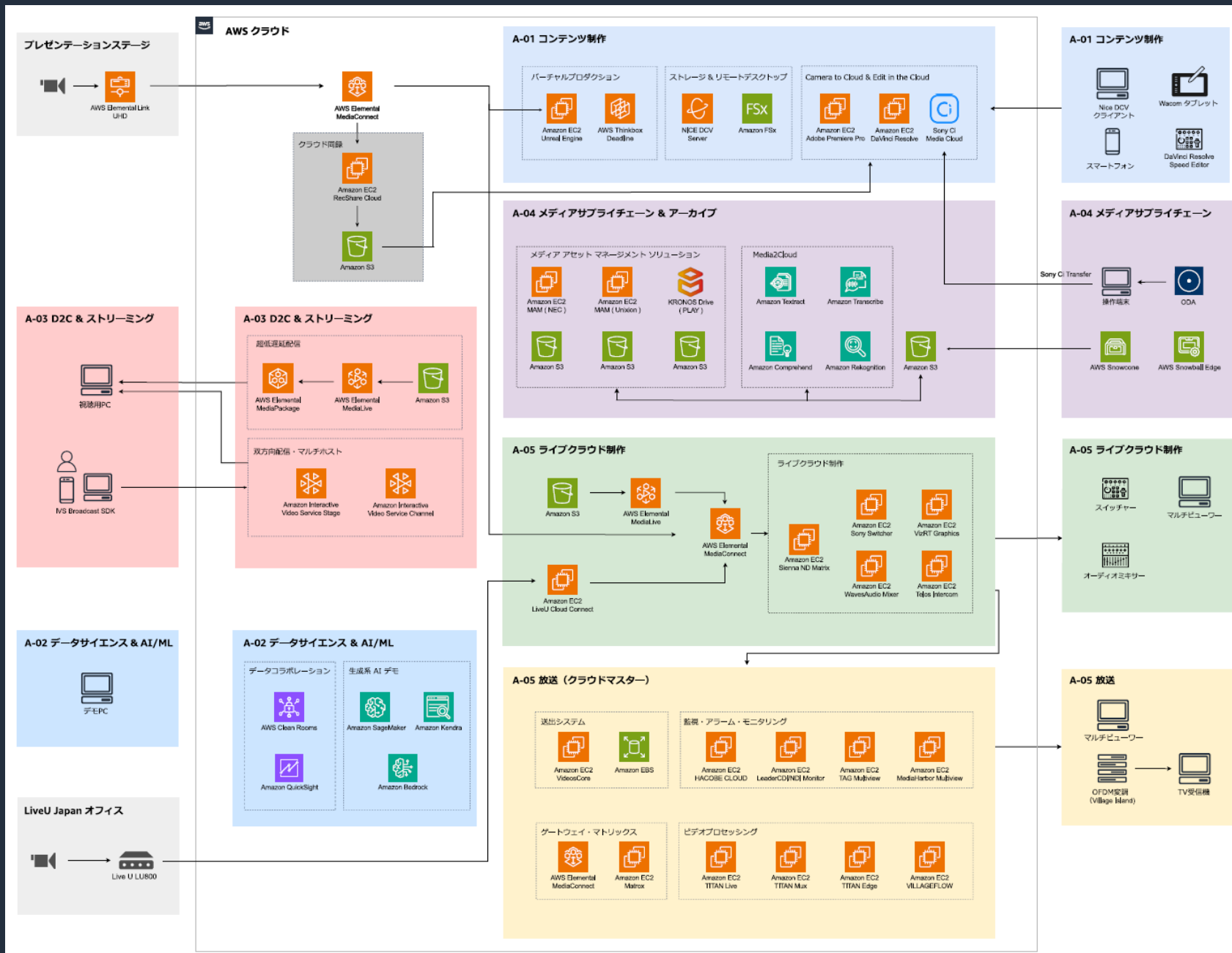
2. メディアサプライチェーン & アーカイブ

3. 放送

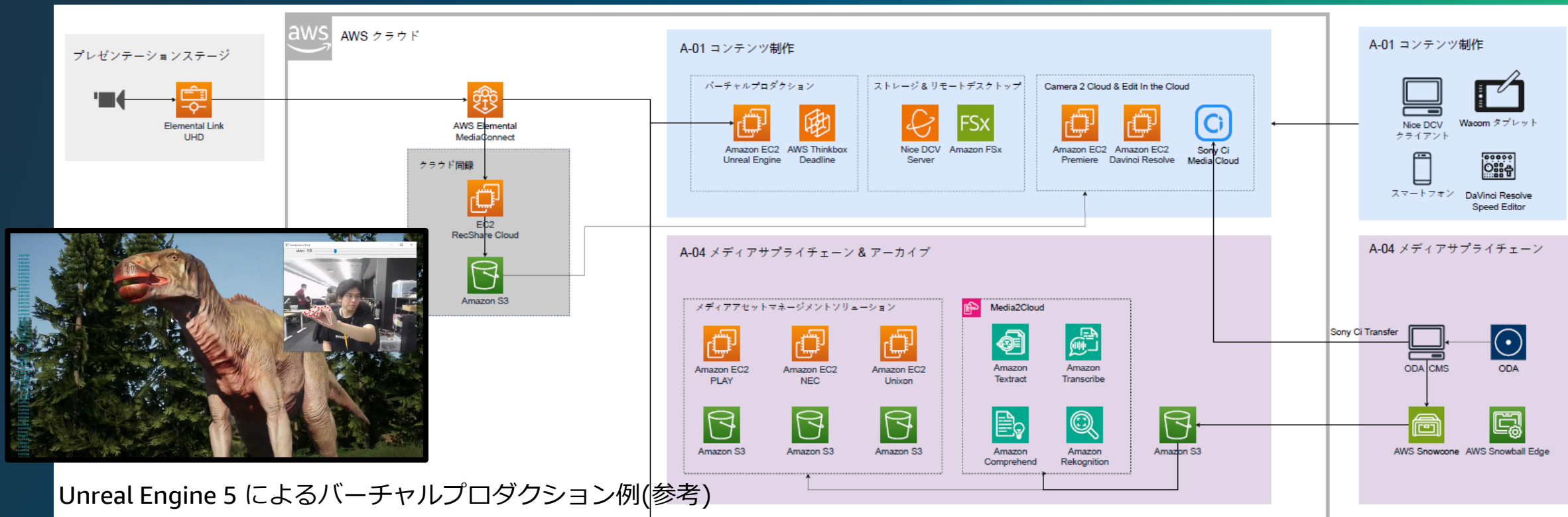
- ・ ライブクラウド制作
- ・ クラウドマスター

4. D2C & ストリーミング

5. データサイエンス & AI/ML



コンテンツ制作 & メディアサプライチェーン



A-01 コンテンツ制作

コンテンツ共有と編集、Unreal Engine 5を活用したバーチャルプロダクション (リアルタイムモーションキャプチャ) の実演

A-04 メディアサプライチェーン & アーカイブ (国内一般初公開)

Sony オプティカルディスクアーカイブから各社メディアアセットマネジメントへのデータ移行、機械学習を活用した映像タグ付け、「Sony Ci Transfer」による効率的なメタデータ・動画のクラウド移行

Unreal Engine 5 on EC2

クラウド上で動作する、Unreal Engine 5

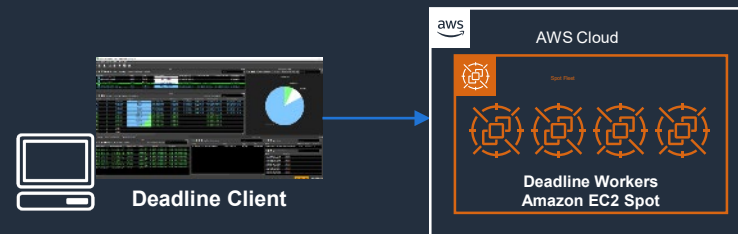
- GPU 搭載の Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) 上に仮想ワークステーションを立ち上げ、その上で実行している Unreal Engine 5 を使って全ての制作作業を行う。
- 一般的な速度のインターネット回線からの接続でほぼ遅延なくリアルタイムでの再生が可能、かつ高速な GPU により高負荷なシーンにおいてもストレスのない 3D 描画を実現

クラウドワークステーション

クラウドレンダリング



AWS Thinkbox Deadline

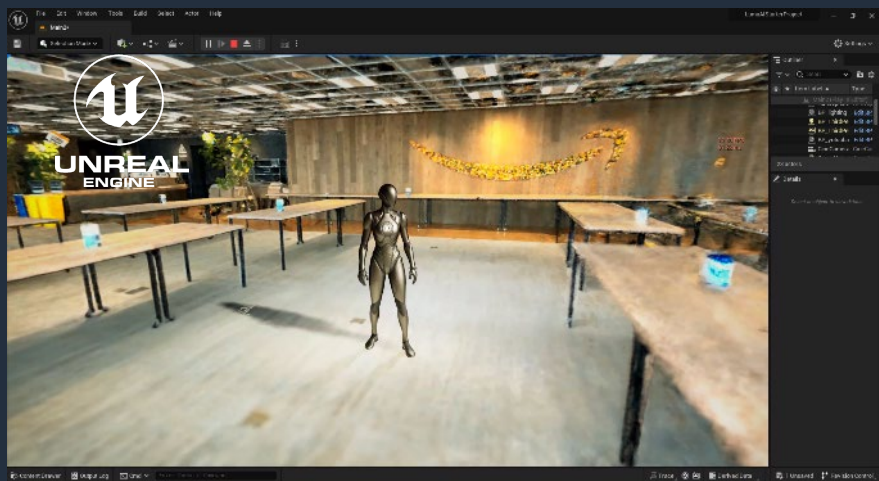


- ✓ 必要な時だけ自動でレンダーファーム構築 いらなくなったら終了できる
- ✓ 社内リソースが足りないときにタスクをクラウドにオフロードできる
- ✓ 管理が簡単・Deadline モニターで一元管理ができる

Unreal Engine 5 on EC2

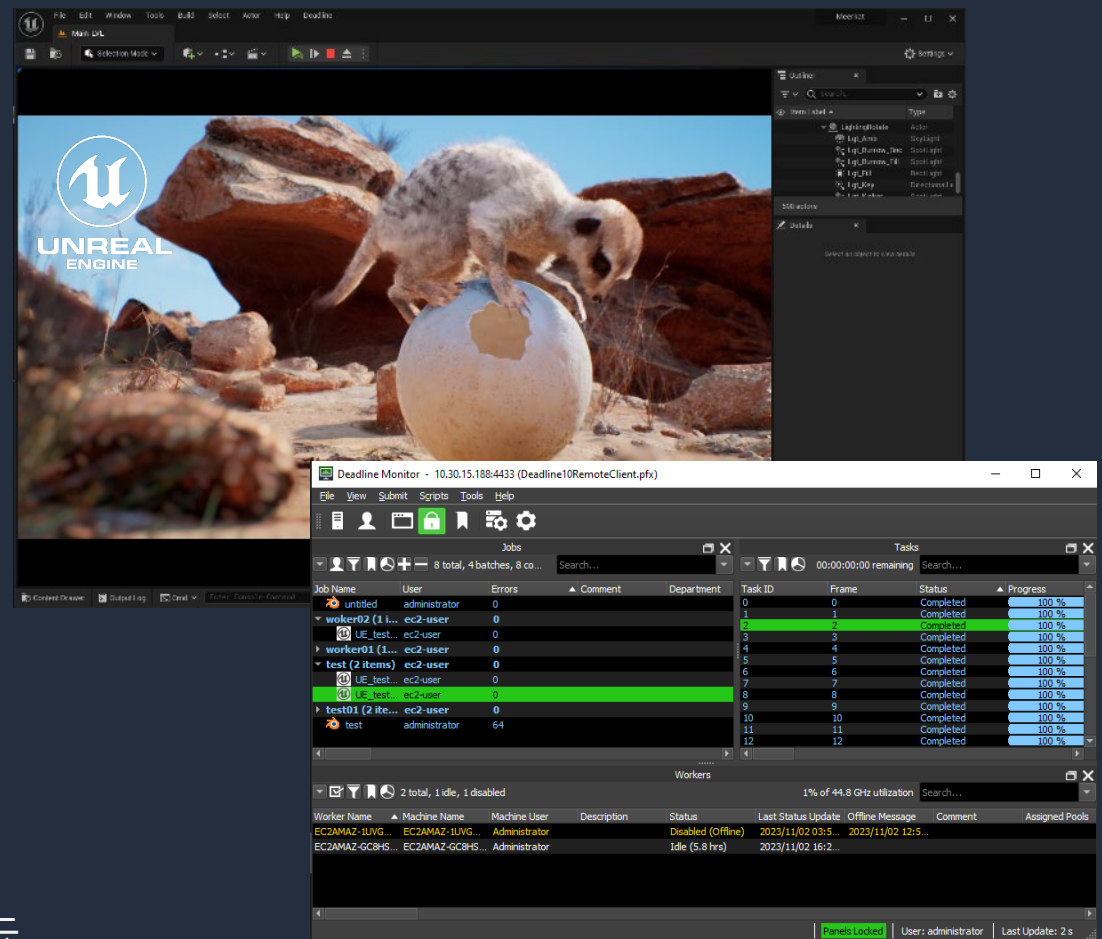


Web カメラから手の骨格を検出して恐竜を操作

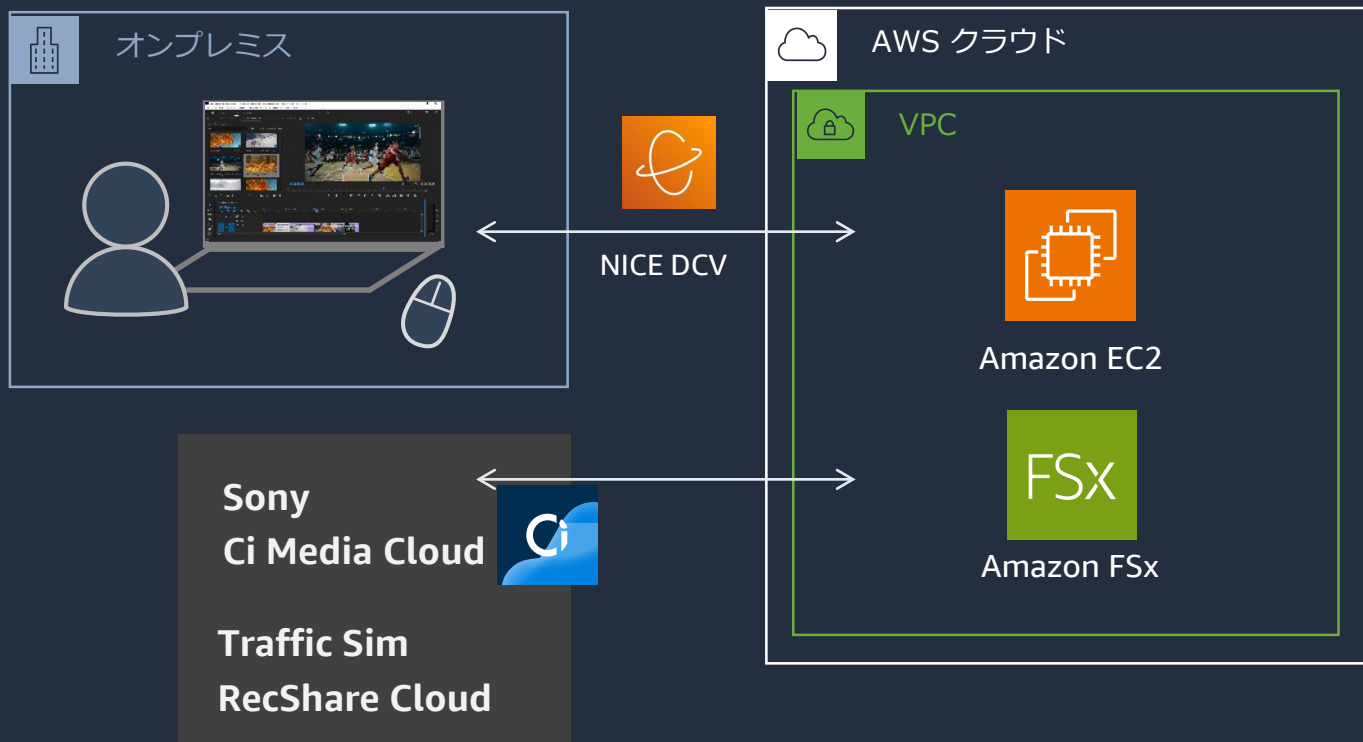


LumaAI で取得した環境を Gaussian Splatting で表示

AWS Thinkbox Deadline 10.3 を利用して、Unreal Engine 5 からクラウドレンダリングを実行



Edit in the Cloud

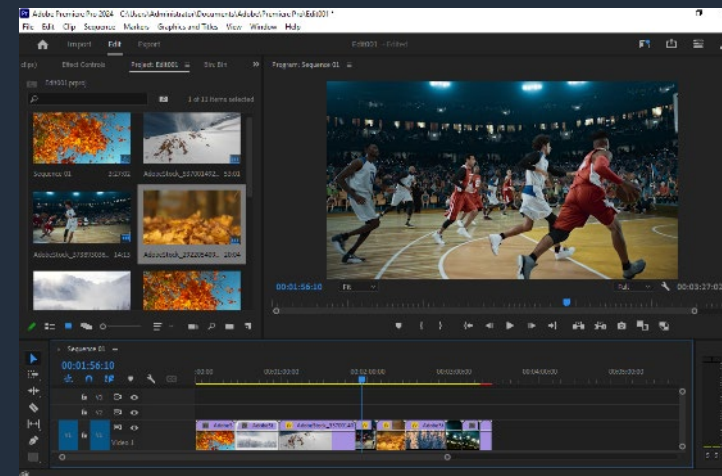


クラウドでの統合編集環境

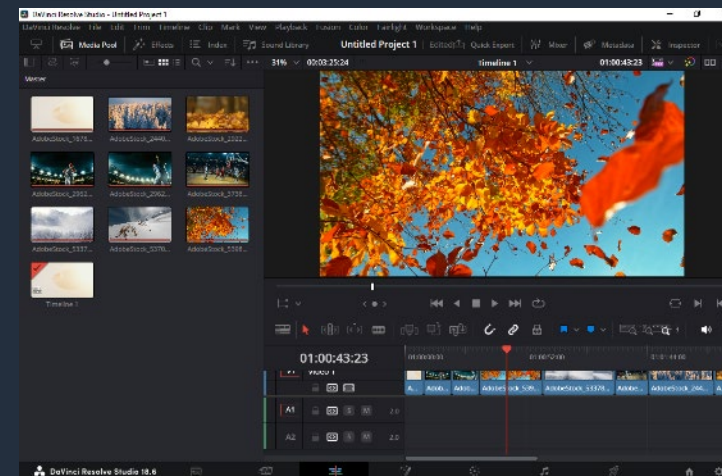
- Amazon EC2 上で動作する **Adobe Premiere Pro**, **DaVinci Resolve** を使用して柔軟性と拡張性に優れた編集環境を構築
- クラウド上のメディアライブラリの素材を AWS ブース内で共有、編集環境と統合し効率的な制作環境を実演



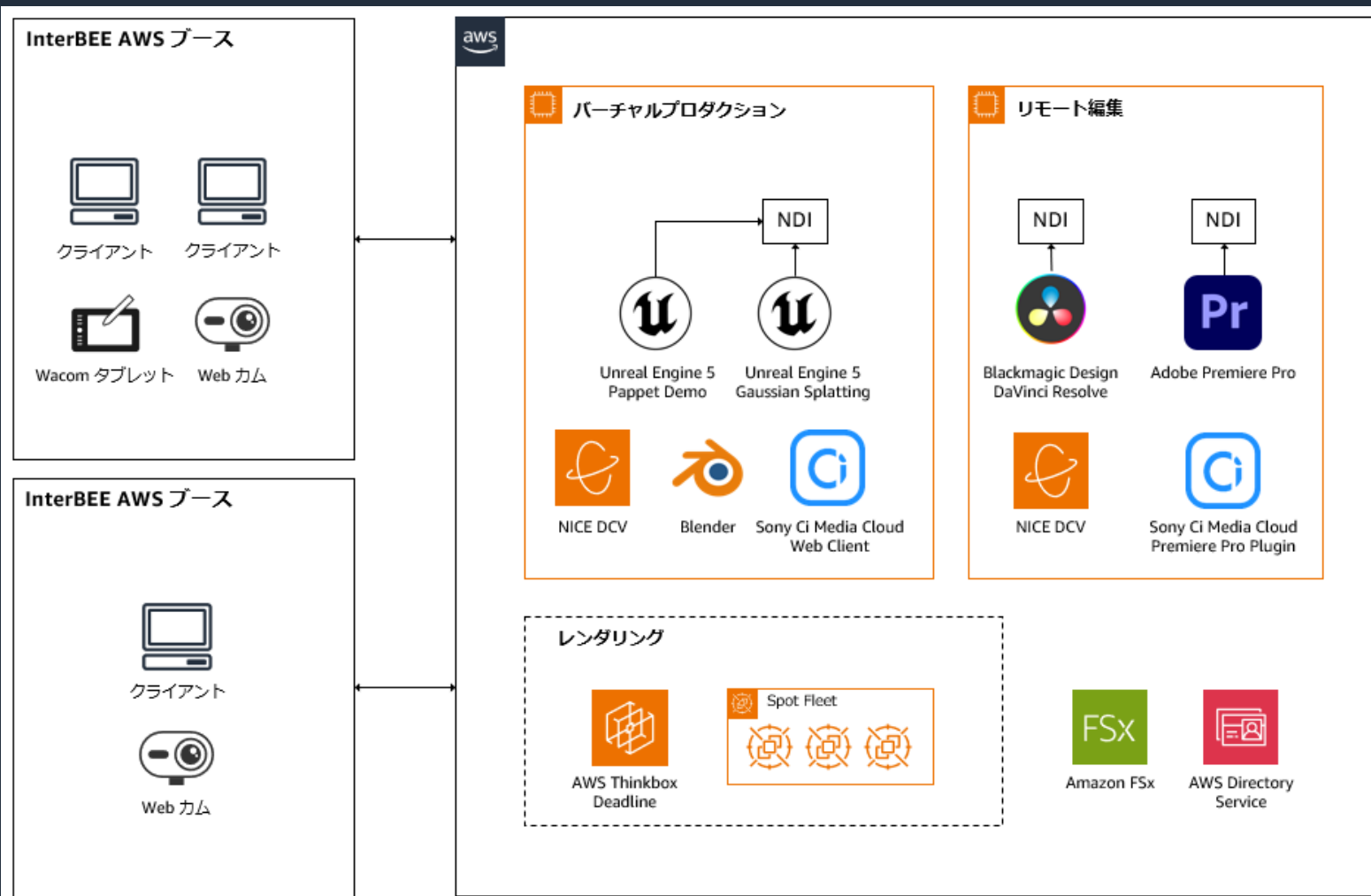
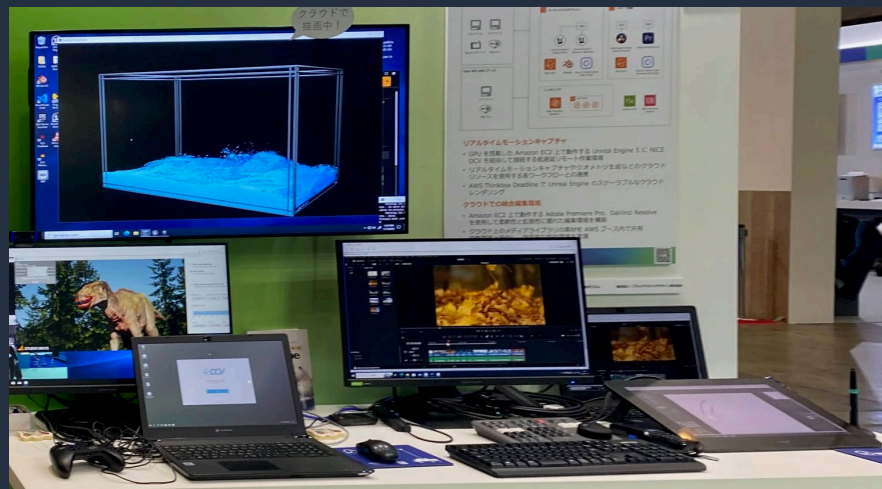
Pr Adobe Premiere Pro



Blackmagic Design DaVinci Resolve Studio



コンテンツプロダクションデモアーキテクチャー



メディアサプライチェーン & アーカイブ

Media2Cloud ソリューション

シンプルかつ直感的な Web インタフェース

動画や静止画のアップロードやメタデータの検索、閲覧を容易に行うことが可能

コンテンツ管理に必要な多彩な機能

チェックサムを検証、プロキシ素材の作成、メタデータの作成、検索と閲覧

AI/ML サービスを用いたメタデータの自動付与

シーン分析（カラーバーの検出等）、文字起こし、顔の識別、有名人の認識

クラウドストレージへのデータ転送

AWS DataSync / Sony Ci Transfer

AWS Snow ファミリーと AWS DataSync を使って、オプティカルディスクアーカイブ (ODA) 物理メディアのアセット (メディアとメタデータ) を一括アップロード

Media2Cloud への自動転送

Ci 内の特定フォルダに Asset が作成されたら、Media2Cloud に転送



© 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.

<https://aws.amazon.com/jp/solutions/implementations/media2cloud/>

AMAZON TRANSCRIBE
Automatic conversion of speech into accurate, grammatically correct text

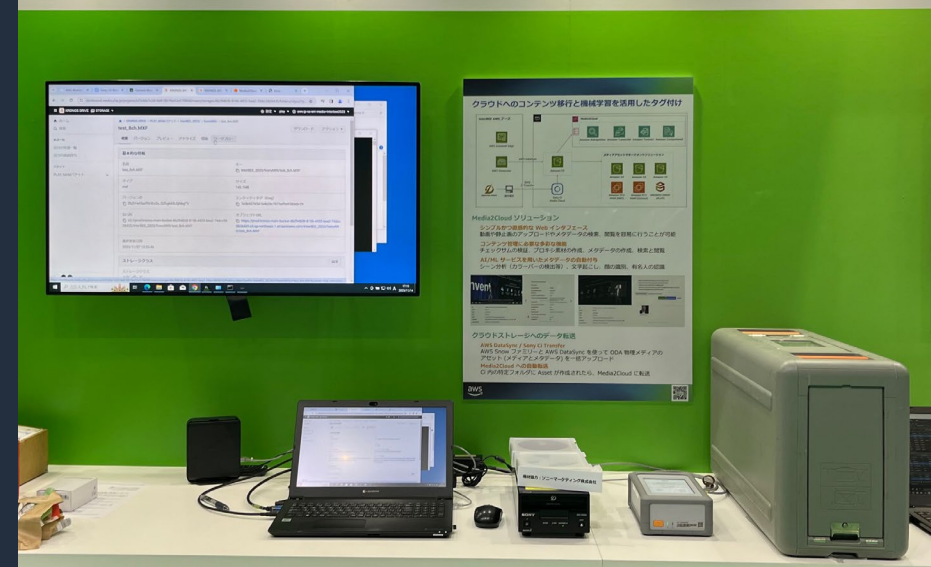
- Move and resize the crop box to center the face
- Make sure the crop area covers the entire face
- Name the face and click on **Index now**
- OR leave the name blank and click on **Queue for later** to send it Amazon SageMaker Ground Truth later

Who is this person? Optional for GroundTruth

Index now **Queue for later** Cancel

ID	312bcbec-c33c-7fca-4a97-8d5a6f3416a5
Name	reinvert
Type	video/mp4
Size	7.34 MB
MD5	717fdcc3079a727754bf25bb4d6f021b
Location	s3://so0050-media2cloud-7198cd30d125-ing...ent.mp4
LastModified	2020-02-14T17:09:23.000Z

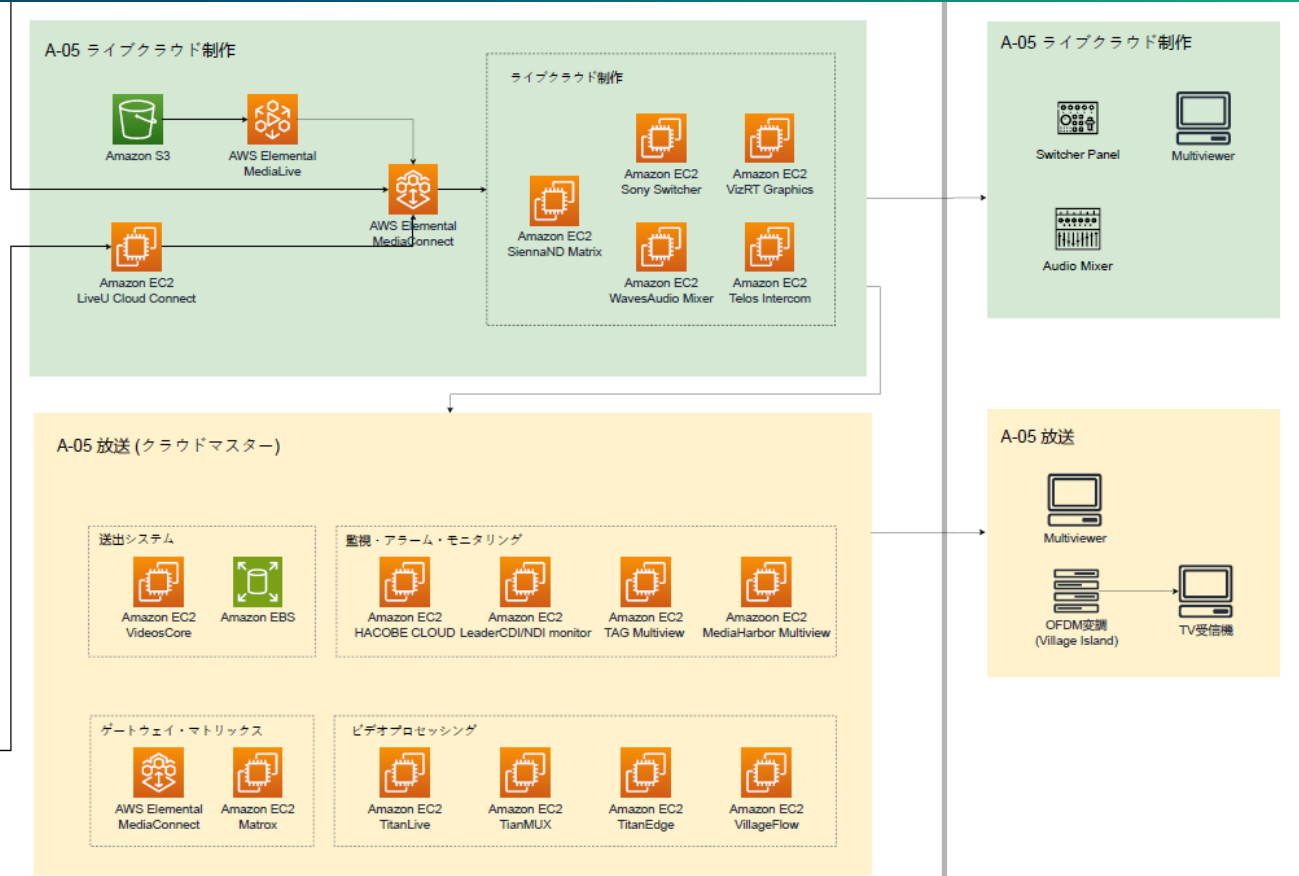
AWS で実現する次世代メディアサプライチェーン



放送 (ライブクラウド制作 & クラウドマスター)



IBC 2023 AWSブース (参考)



A-05 放送 (ライブクラウド制作) (国内一般初公開)

様々なパートナーソリューションを組み合わせた、ライブクラウド制作の実演

A-05 放送 (クラウドマスター) (国内一般初公開)

日本の放送に焦点を当てたクラウドプレイアウトを構築する取り組み



放送 (ライブクラウド制作)

ライブクラウド制作の特徴

- クラウドの柔軟性と拡張性を最大限に活用し制作コストを最適化
- 様々な方法でのライブ映像の取得と、クラウドからの柔軟な映像ディストリビューション
- 普段使い慣れたハードウェアコンソールからクラウド上の映像・音声信号を遅延なく制御

パートナーソリューション一覧

SONY ビデオスイッチャー

SIENNA NDI システムルーター

vizrt ライブグラフィックス

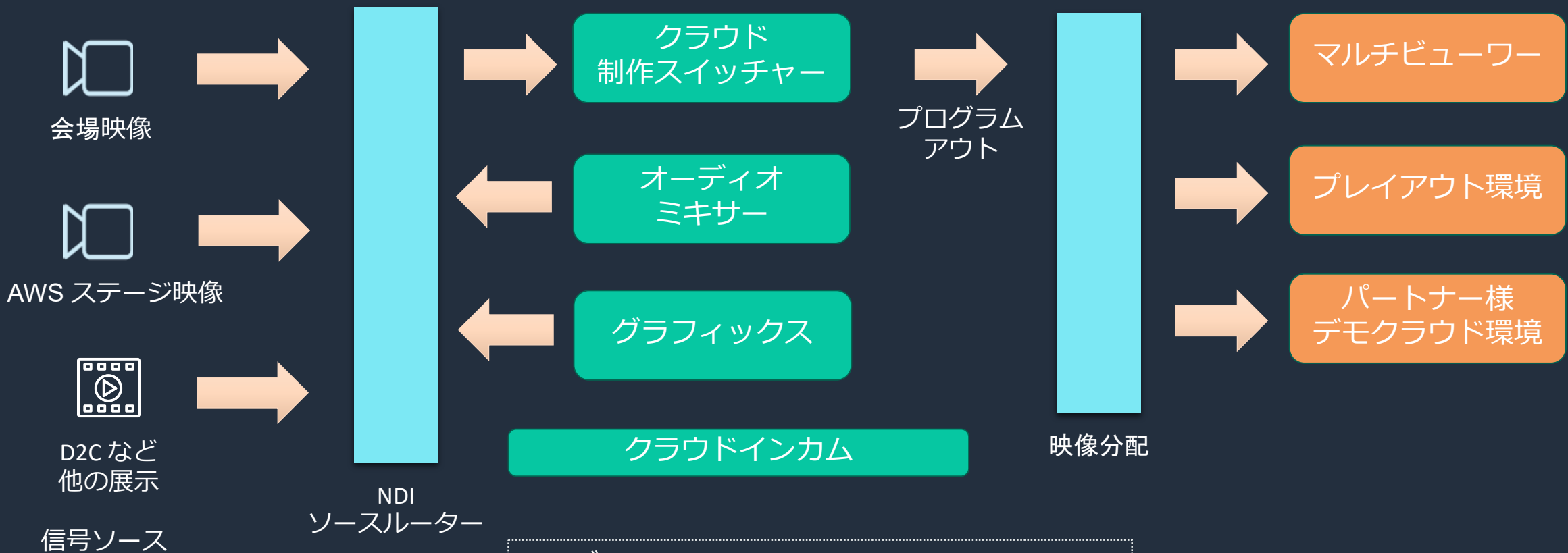
Telos Alliance クラウドインカム

WAVES オーディオミキサー

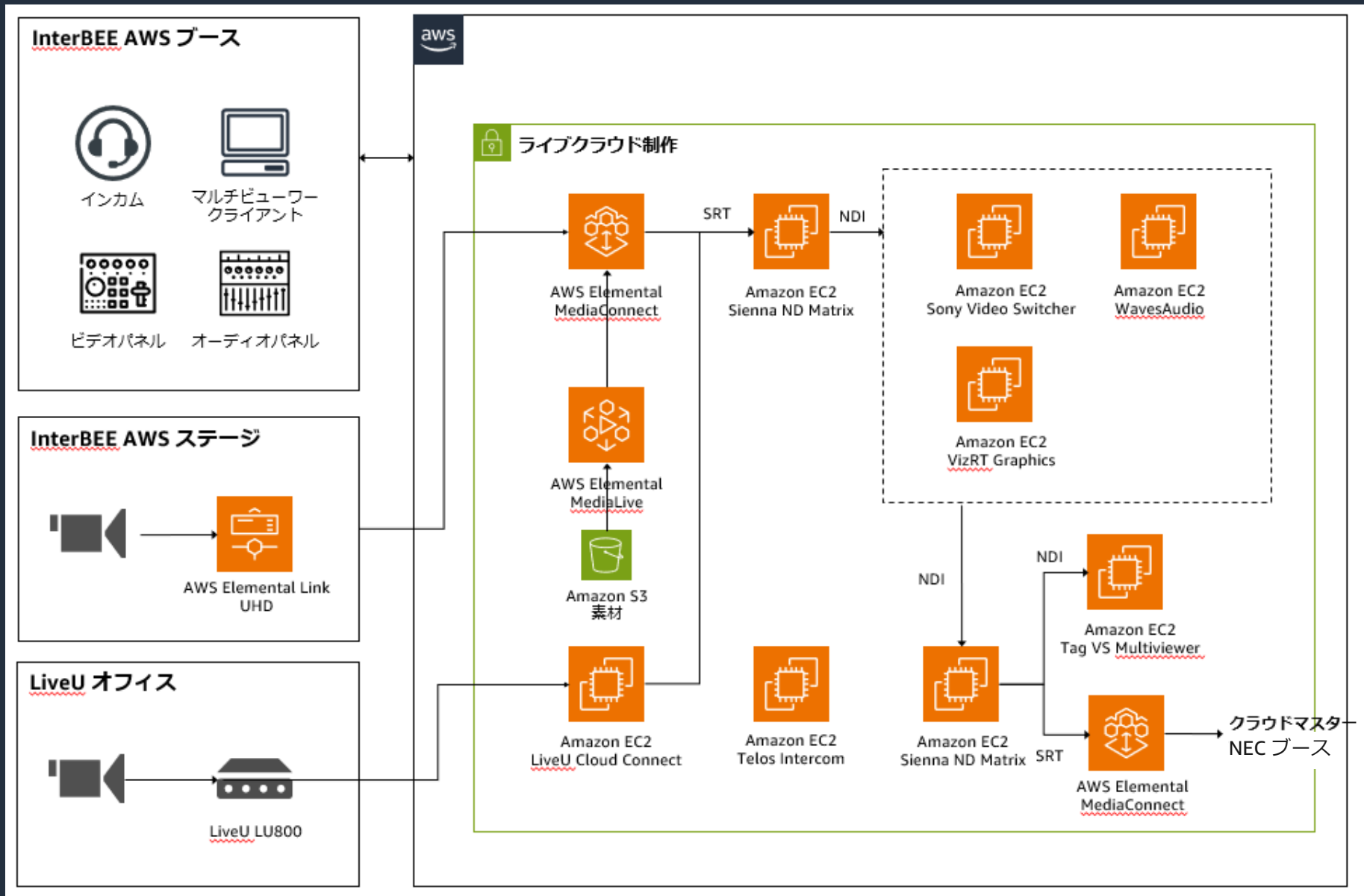
TAG VIDEO SYSTEMS マルチビューワー



クラウドライブ制作展示内容



放送 (ライブクラウド制作)



放送 (クラウドマスター)

クラウドマスター検証のための検証項目

- 日本の放送に求められる各種規格への対応
- AWS Cloud Digital Interface (CDI) による EC2 間の非圧縮映像伝送、複数のパートナーソリューションを組み合わせた相互互換性
- 放送に求められる信頼性と品質・遅延を担保するための信号監視手法

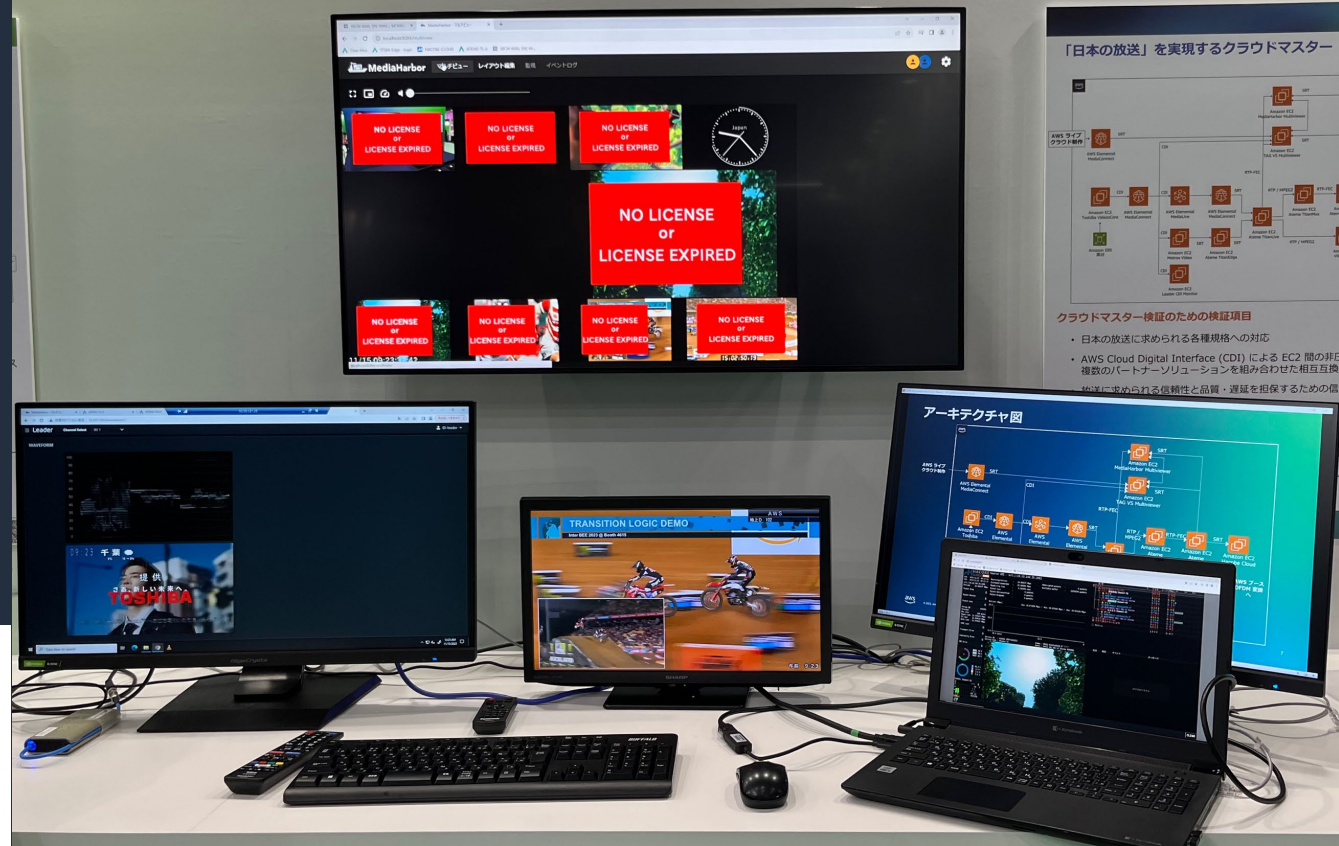
パートナーソリューション一覧

TOSHIBA	プレイアウトサーバー	ATEME Captivate your audience	エンコーダー・MUX
matrox video-	ライブ信号変換	TAG VIDEO SYSTEMS	統合監視システム
Leader	ライブ信号監視	VILLAGE island BROADCAST EVOLUTION	ReMUX
Traffic Sim	TSアナライザー・マルチビューワー		

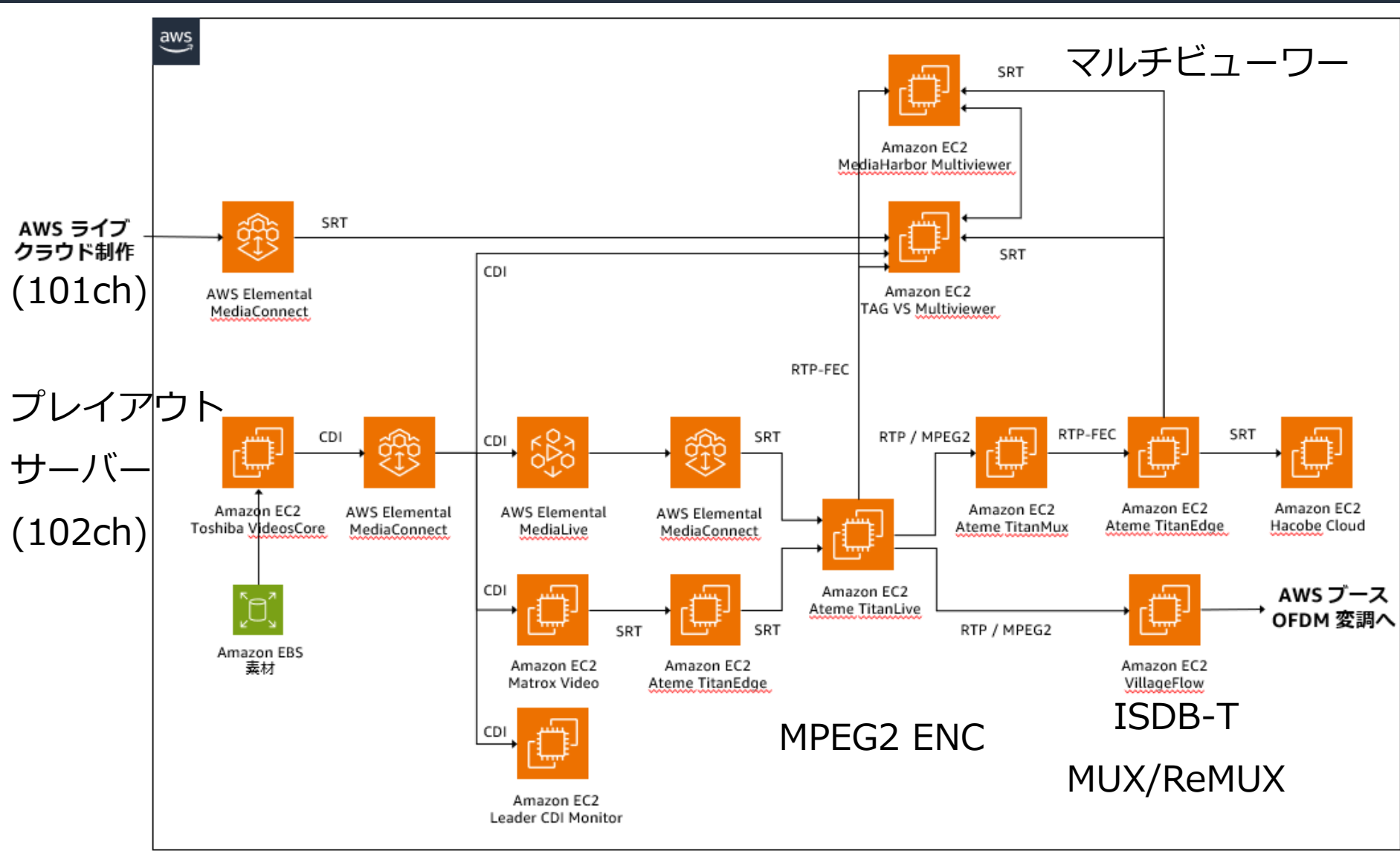


© 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.

クラウドプレイアウトの現在地



放送 (クラウドマスター)

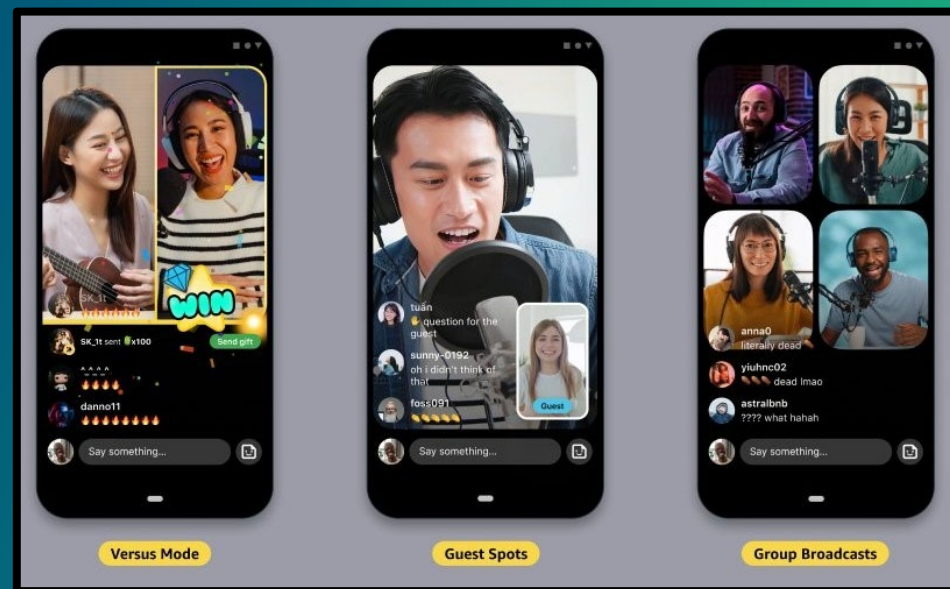
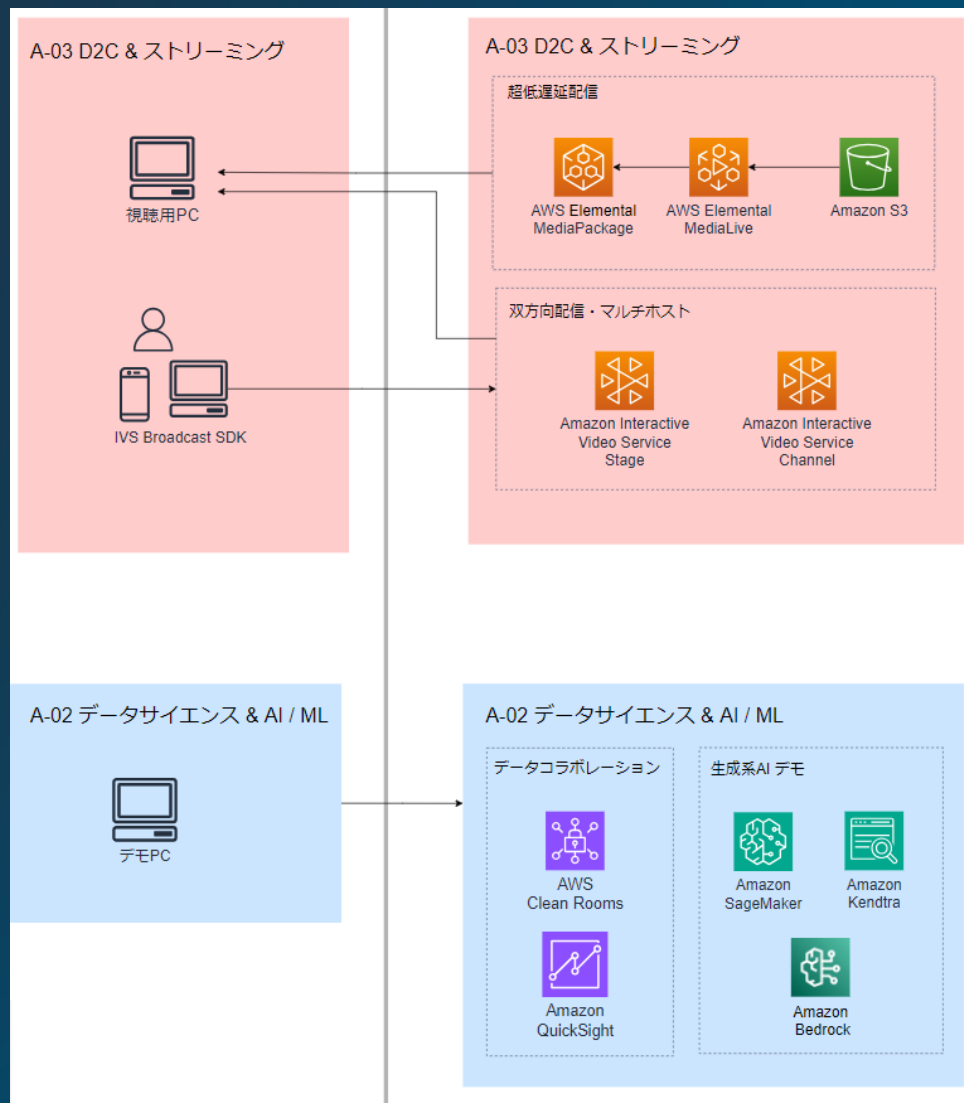


101ch, 102ch
マルチチャンネル編成



テレビ受像

D2C & ストリーミング / データサイエンス & AIML



Amazon Interactive Video Service Multiple Hosts 機能

A-03 Direct to Consumer & ストリーミング (国内一般初公開)

Amazon IVS の新機能 Multiple Hosts の紹介
AWS Elemental Media Package v2による超低遅延配信

A-02 データサイエンス & AI/ML (国内一般初公開)

Amazon Bedrock・Amazon SageMakerで構築する
生成系 AI ソリューションをデモ展示
AWS Clean Rooms による、データコラボレーションの実演

D2C & ストリーミング

Amazon IVS Real-Time Streaming

- 10,000 人の視聴者に WebRTC を使用し、レイテンシーを **300 ミリ秒未満** に抑えることのできるリアルタイムストリーミングを提供

Amazon IVS Low-Latency Streaming

- Twitch が利用するのと同じグローバルインフラストラクチャにより視聴者までのレイテンシーを **3~5 秒** に抑える

AWS Elemental MediaPackage v2

- Low-latency HLS (LL-HLS) を使用してレイテンシーを約 **6 秒** まで抑えて提供

AWS で実現する超低遅延配信

超低遅延配信ソリューションと双方向配信

- Amazon IVS Real-Time Streaming**
 - WebRTC を使用してレイテンシーを 300 ミリ秒未満に抑えることのできるリアルタイムストリーミングを提供
 - 10,000 人の視聴者にリアルタイムライブストリームを配信
- Amazon IVS Low-Latency Streaming**
 - Twitch が利用するのと同じライブストリーミングテクノロジーとグローバルインフラストラクチャを使用
 - 視聴者までのレイテンシーを 3~5 秒に抑えることができる
 - IVS Broadcast SDK と Player SDK を使用してインタラクティブな Web およびモバイルアプリを提供
- AWS Elemental MediaPackage v2**
 - Low-latency HLS (LL-HLS) を使用してレイテンシーを約 6 秒まで抑えて提供
 - Amazon CloudFront と併用して大規模に視聴者に配信が可能

デモ映像

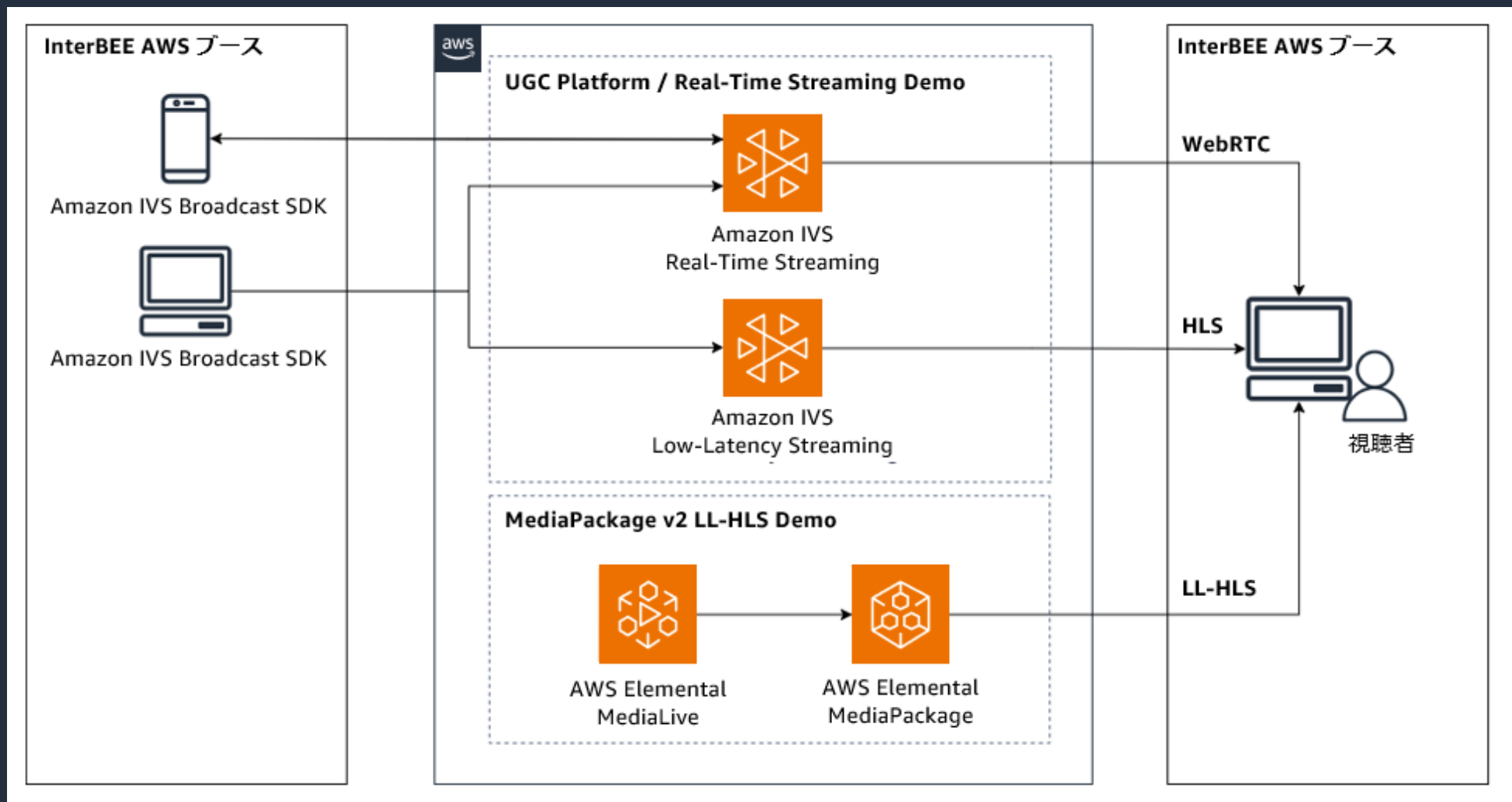
配信者画面

The screenshot shows the Amazon IVS Real-Time Sample broadcaster interface. At the top, there is a blue header with a hamburger menu icon and the text "IVS Real-Time Sample". Below the header, there are two dropdown menus: "Select Camera" (set to "OBS Virtual Camera") and "Select Microphone" (set to "NDI Webcam 1 (NewTek NDI Audio)"). To the right of these menus are two buttons: "JOIN STAGE" and "LEAVE STAGE". Below the menus is a small video preview window showing a character climbing a rope, with a timestamp of "18:17:08". Below this is a larger "Preview" window showing the same character, also with a timestamp of "18:17:08". At the bottom of the interface are two buttons: "START BROADCAST" and "STOP BROADCAST".

視聴者画面

The screenshot shows the Amazon IVS viewer interface. At the top, there is a "JOIN STAGE" button and a large timestamp "18:17:08". Below this is a video player showing a character climbing a rope, with a timestamp of "18:17:07". To the right of the video player is the text "Realtime Streaming". Below the video player is a browser window titled "Amazon IVS UGC Demo" showing a video player with a timestamp of "18:17:04". To the right of the browser window is the text "Low Latency Streaming".

D2C & ストリーミング アーキテクチャ

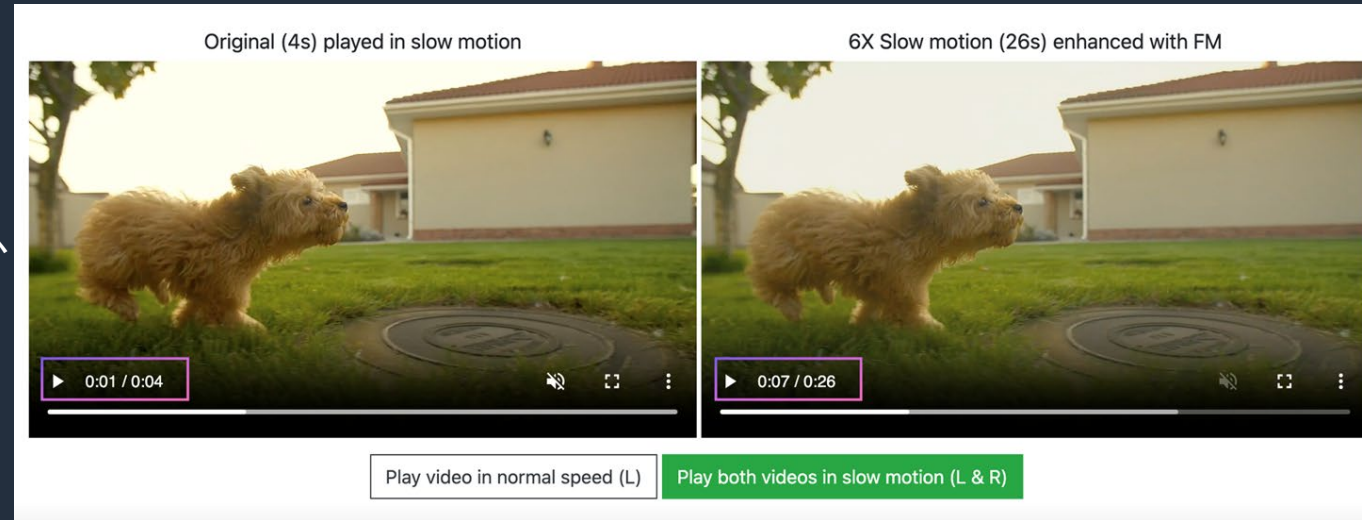


データサイエンス AI&ML

生成系 AI の活用

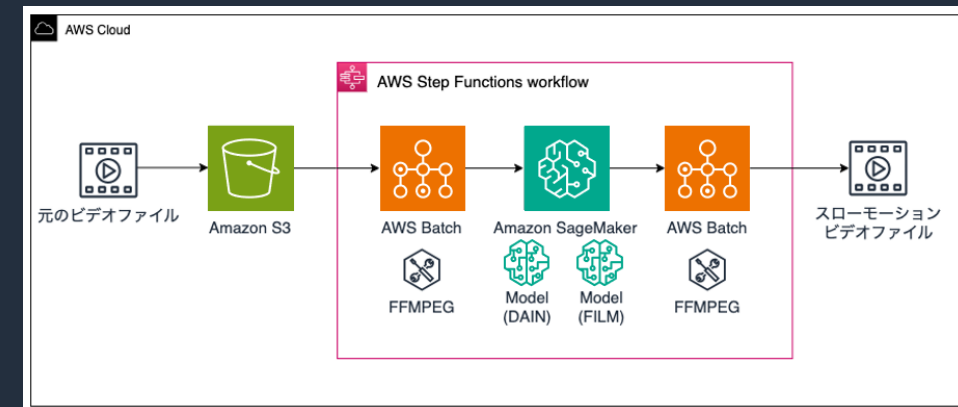
- スーパースローモーション生成、超解像生成、ライブコメンタリー生成
- 最新の ML モデルを簡単に活用できる

Amazon SageMaker JumpStart



生成系 AI を活用したビジネスユースケース

- 社内ナレッジ検索、文章生成、要約、翻訳、画像生成、etc
- API を通じて基盤モデルを利用できる **Amazon Bedrock** や AWS のサーバレスサービスを組み合わせ実現

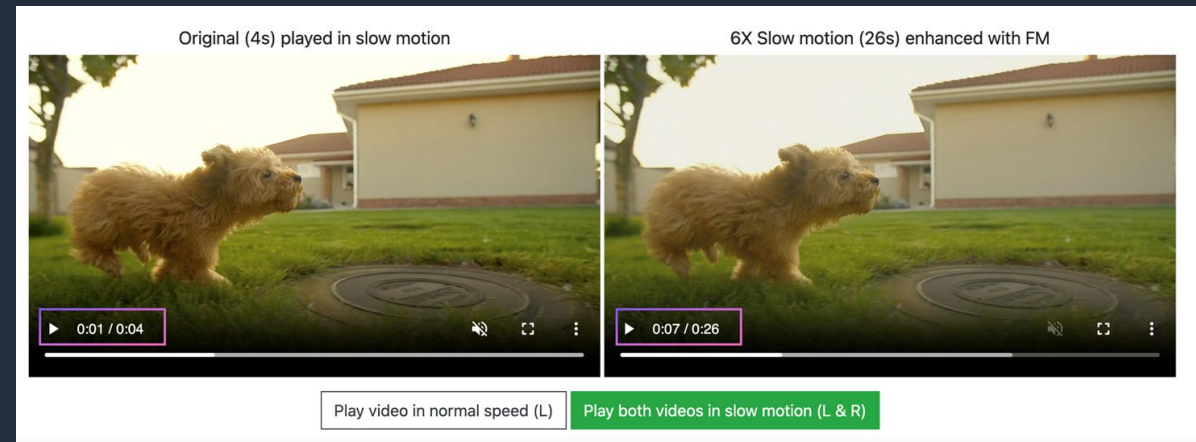
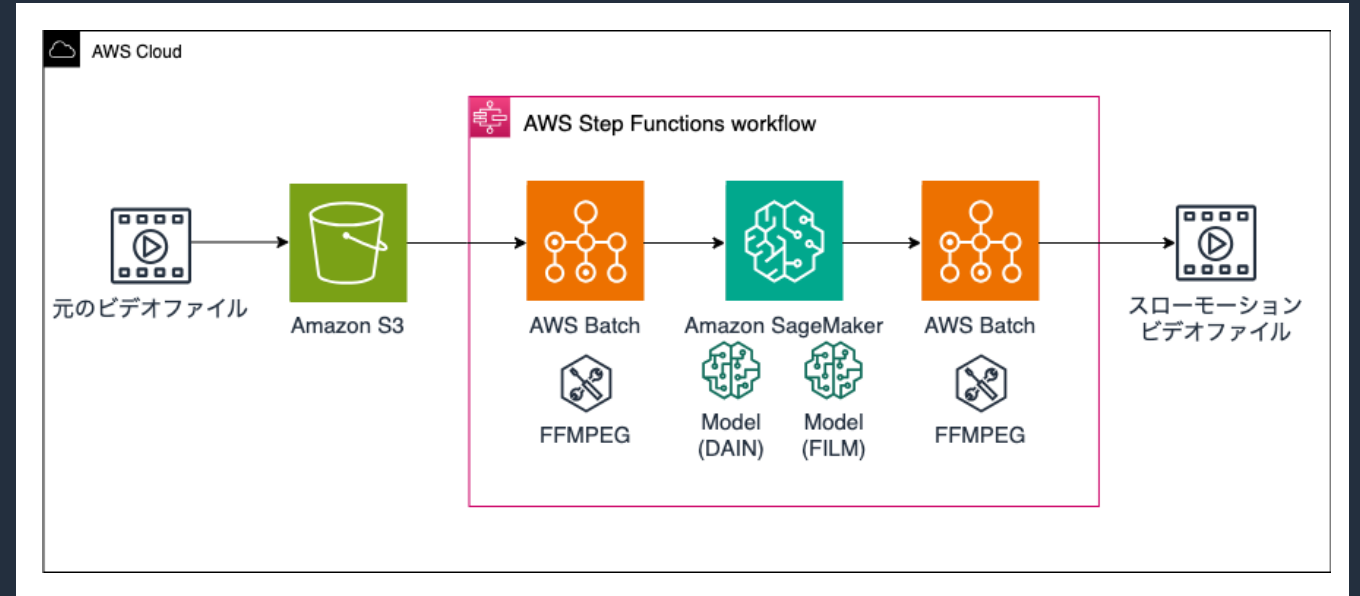


スーパースローモーション映像の生成

処理の流れ:

1. 映像アップロード
2. AWS Batch で FFmpeg を利用し
フレーム抽出
3. Amazon SageMaker 上にホストされて
いるモデルで補完処理
4. FFmpeg でスーパースロモ映像出力

基盤モデル: DAIN / FILM

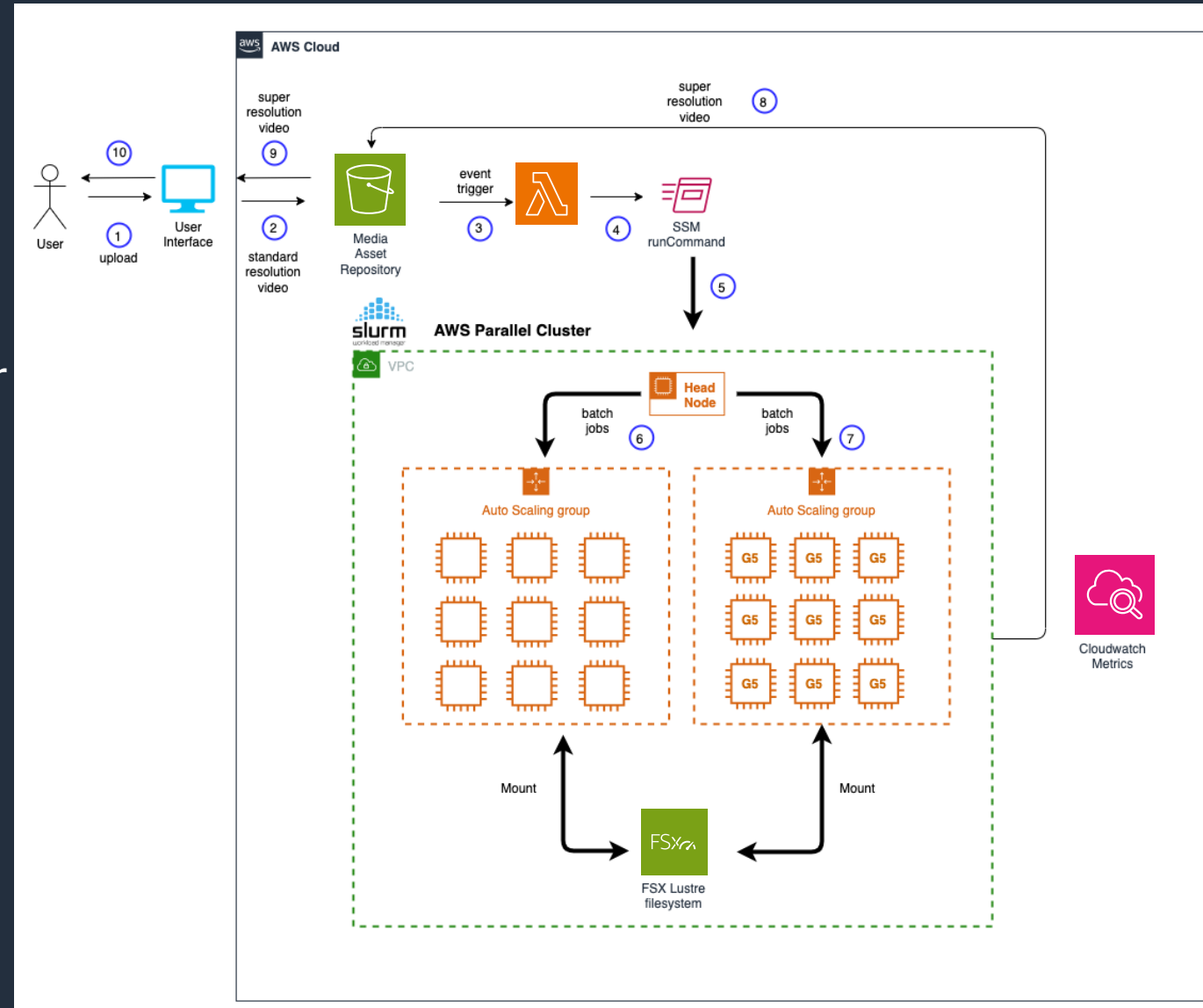


超解像映像の生成

処理の流れ:

1. 映像アップロードとフレーム抽出
2. Slurm スケジューラと AWS Parallel Cluster によりオーケストレーション
3. AI モデルによるアップスケーリング
4. 超解像ビデオの出力

基盤モデル: Real-ESRGAN / SwinIR

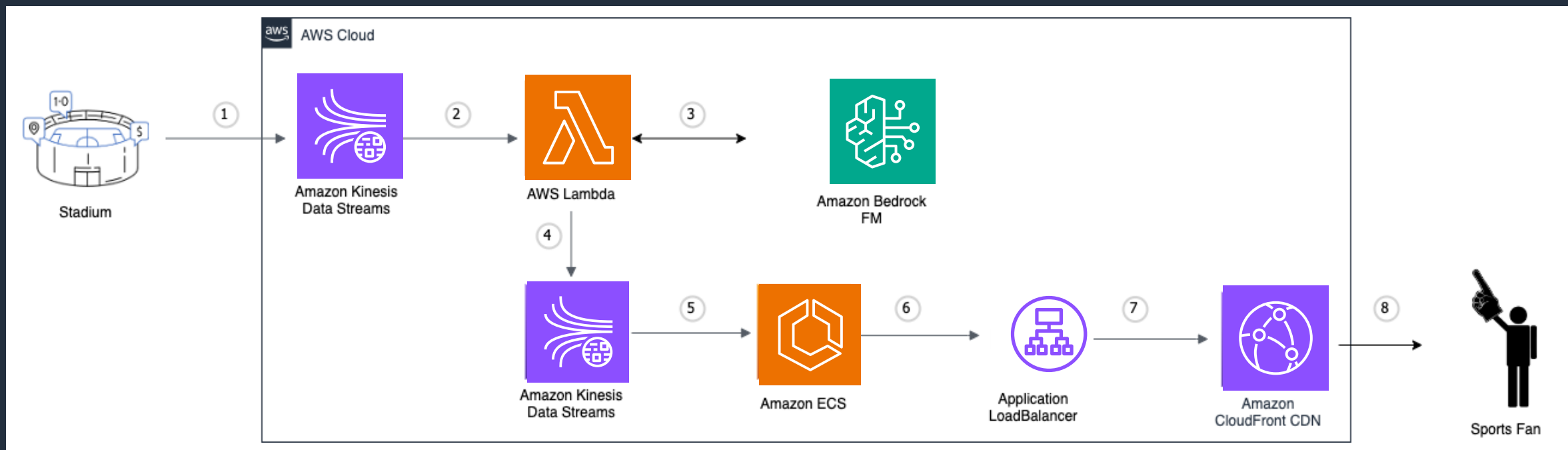


ライブスポーツコメントリー

処理の流れ:

1. スポーツデータフィードのインGEST
2. 抽出したデータから、プロンプトを生成
3. Amazon Bedrock を使い基盤モデルに投入し、処理を実行
4. コメントリーデータを取得

基盤モデル:
Jurassic-2 Ultra

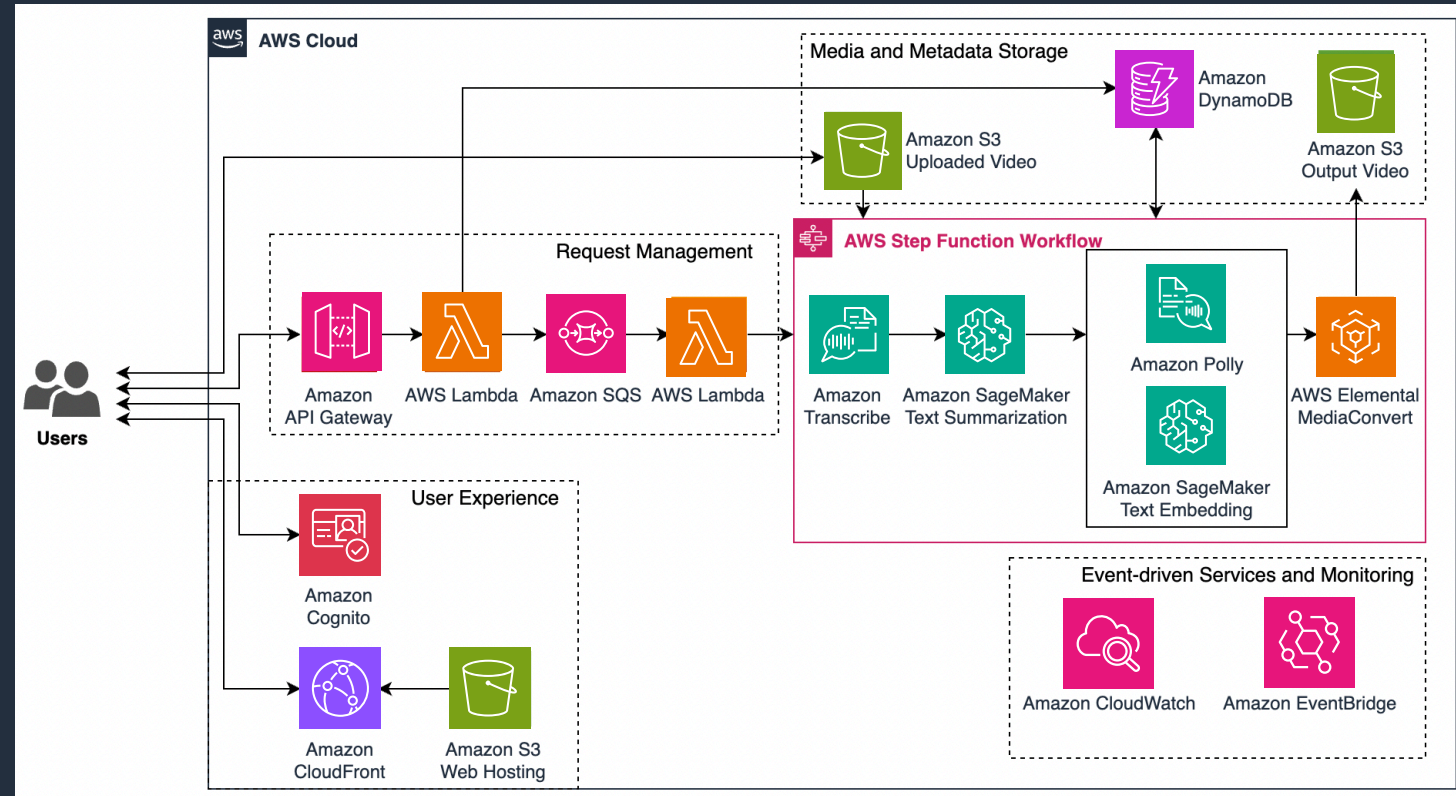


ビデオから要約動画の自動生成

処理の流れ:

1. ビデオ音声からテキストを取得し
タイムコード付きの字幕ファイルを生成
2. Amazon SageMaker JumpStart で
デプロイされている基盤モデルで
上記テキストを要約
3. Amazon Polly で上記テキストを音声化
4. 要約コンテンツの文章が該当するビデオ
シーケンスを選択しビデオを作成

基盤モデル: Llama2 / all-MiniLM-L6-v2



<https://aws.amazon.com/jp/blogs/media/video-summarization-with-aws-artificial-intelligence-ai-and-machine-learning-ml-services/>

ビジネス業務のユースケース

基盤モデルを使った、社内ナレッジの検索、文章生成、要約、翻訳、画像生成などのデモンストレーション

API を通じて基盤モデルを利用できる Amazon Bedrock や AWS のサーバレスサービスを組み合わせて実現

The screenshot displays a web application interface for a RAG Chat. On the left is a dark sidebar menu with the following items: 'ユースケース (生成系AI)' (Use Cases (Generative AI)), 'ホーム' (Home), 'チャット' (Chat), 'RAG チャット' (RAG Chat - selected), '文章生成' (Text Generation), '要約' (Summarization), '校正' (Correction), 'ツール (非生成系AI)' (Tools (Non-Generative AI)), 'Kendra 検索' (Kendra Search), '会話履歴' (Conversation History), 'リンク' (Links), 'Bedrock', 'GitHub', and a '[> サインアウト]' (Logout) button at the bottom.

The main content area is titled 'RAG チャット' (RAG Chat) and contains a chat conversation. The user's question is 'Kendra とは何ですか?' (What is Kendra?). The system's response explains that Kendra is an enterprise search service provided by Amazon Web Services (AWS) that extracts knowledge from organizational data sources and returns relevant search results in natural language. The response lists three main features: collecting and integrating knowledge from multiple data sources, understanding text intent through natural language processing to return relevant results, and using machine learning to improve search results over time. It also notes that Kendra integrates with data sources like SharePoint, Salesforce, and Amazon S3, and that users can interact with it by simply entering natural language queries.

At the bottom of the chat window, there is a text input field with the placeholder '入力してください' (Please enter) and a '最初からやり直す' (Reset from the beginning) button.

すぐに AWS 環境にデプロイ可能

<https://github.com/aws-samples/generative-ai-use-cases-jp>

出展者セミナーのご紹介



ライブ制作の未来を変える！遅延なしの次世代型クラウドプロダクション

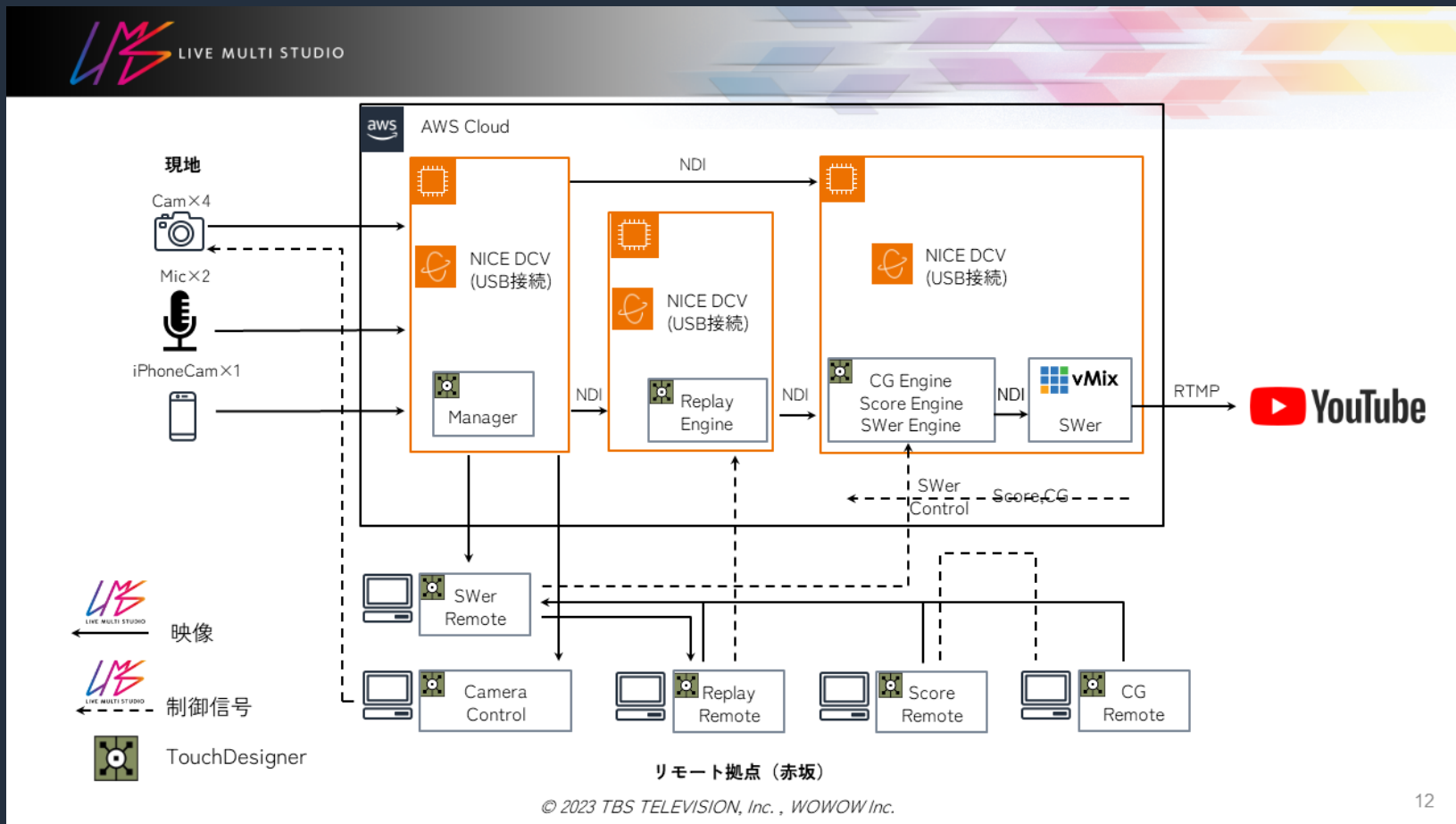
株式会社WOWOW様 / 株式会社TBSテレビ様



初のオールクラウドプロダクション

全国選抜高校テニス大会

リモート環境からカメラ制御、スイッチング、リプレイ、CG、スコア表記



ライブ制作の未来を変える！遅延なしの次世代型クラウドプロダクション

株式会社WOWOW様 / 株式会社TBSテレビ様

LMS LIVE MULTI STUDIO

クラウドプロダクション2回目 YouTube

第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 (京都・山梨・岐阜)
TBS スポーツYoutubeチャンネルで配信中
連続した複数会場での映像制作を1拠点で制作&通信・電源のモバイル化
オペレーションスタッフ・機材の効率的な稼働が可能に！

© 2023 TBS TELEVISION, Inc., WOWOW Inc.

全日本高等学校女子サッカー選手権大会

1拠点で3会場の試合を同時制作
準備は3つのインスタンスを立ち上げるのみ

LMS LIVE MULTI STUDIO

東海地区予選会場(岐阜)

関東地区予選会場(山梨)

リモート制作拠点(東京・赤坂)

aws AWS Cloud

GPU付きEC2でLMSデコード、SWとReplay、CG付をすべてクラウド上で実施
準備は3つのインスタンスを立ち上げるだけ

Manager SW,Replay CG,配信

RTMP YouTube

RTMP

IP伝送

カメラコントロールやスイッチ、スコア表示
さらにリプレイやハイライトも加わった映像制作
1拠点で2日程3会場の試合を同時制作！

※【公式】TBSスポーツ Youtubeチャンネルにて11/19も配信予定！

© 2023 TBS TELEVISION, Inc., WOWOW Inc.



Deliver.

1日最大 150 球場超！大規模配信を支えるバーチャル高校野球ライブ配信の舞台裏 朝日放送グループホールディングス株式会社様

配信数拡大に伴う課題



1. 年々増える配信数拡大に
耐えうる**配信基盤**の構築
2. エンコーダの多様化・
運用者の配信スキルに依存しない仕組み
3. 試合情報やステータス共有・
コミュニケーション手段の検討

©2023 Asahi Broadcasting Group Holdings, Corp.

11

高校野球の配信数拡大に対応

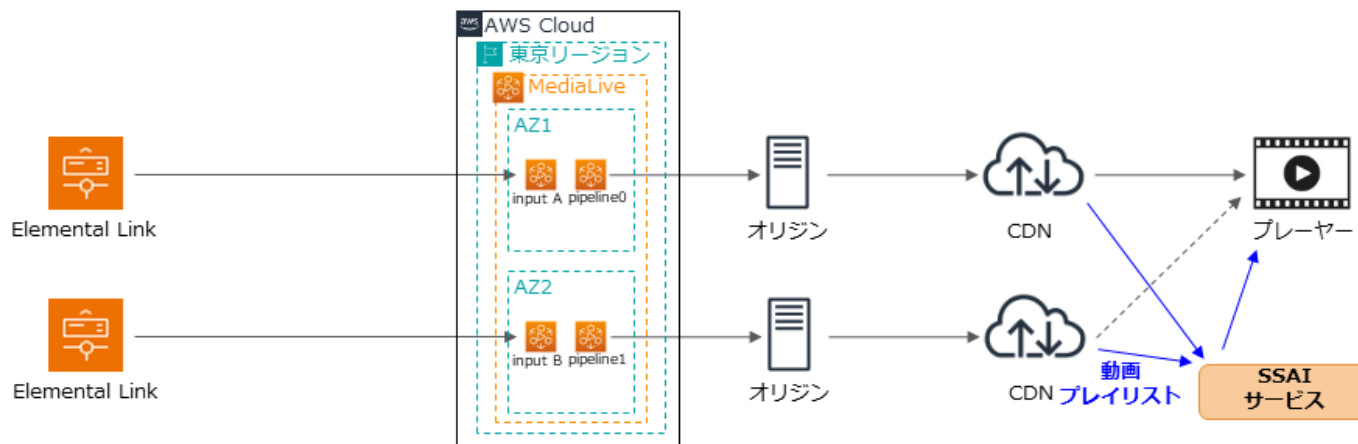
AWS Elemental Link を導入

全ての球場のエンコーダ設定を
AWS 側で一律管理・設定

AWS Elemental Linkの導入



全ての球場のエンコーダ設定をAWS側で一律で管理・設定ができる。
トラブル対応時の切り分けをAWS上で行うことができる。



©2023 Asahi Broadcasting Group Holdings, Corp.

19



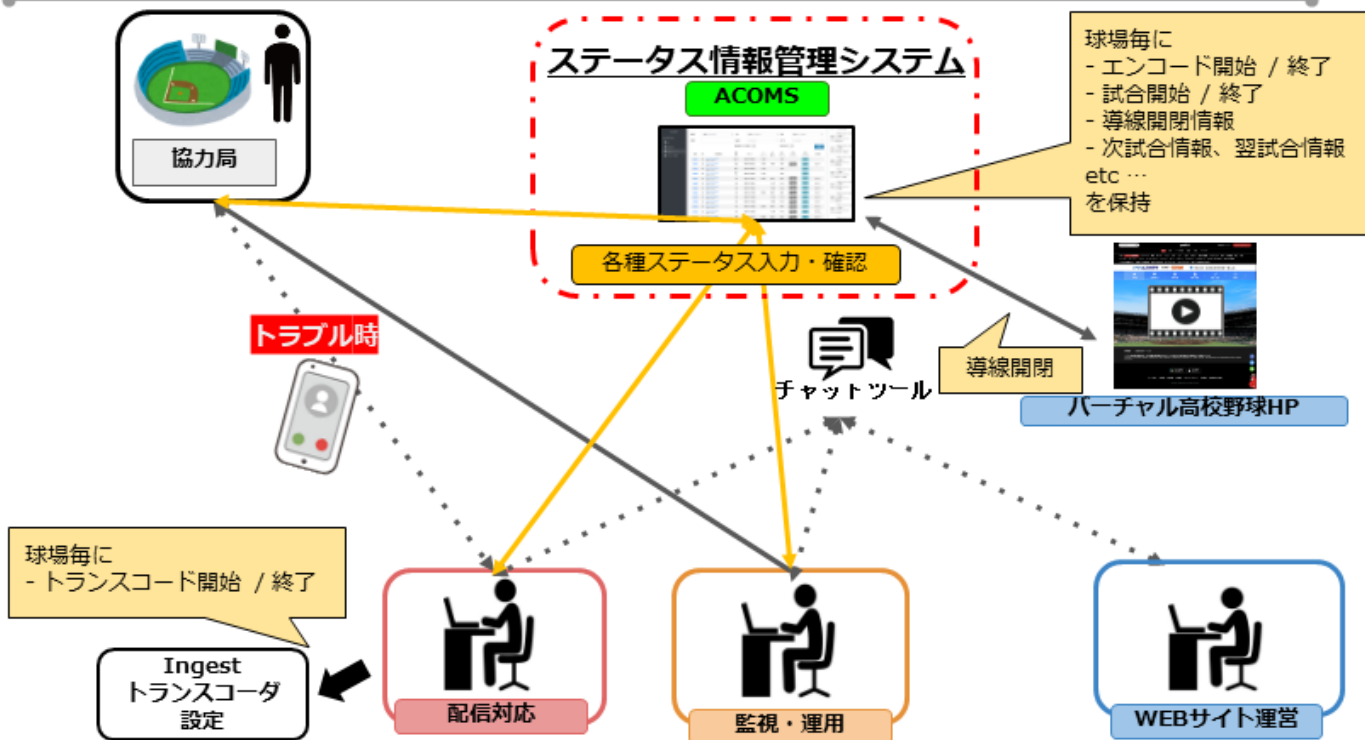
1日最大 150 球場超！大規模配信を支えるバーチャル高校野球ライブ配信の舞台裏 朝日放送グループホールディングス株式会社様

ステータス情報管理をシステム化
効率的なスケジュールとステータスの管理

各所とのコミュニケーションをシステム上で共有

コミュニケーションコスト削減と効率的な運用を実現

After ステータス情報管理システム構築



©2023 Asahi Broadcasting Group Holdings Corp.



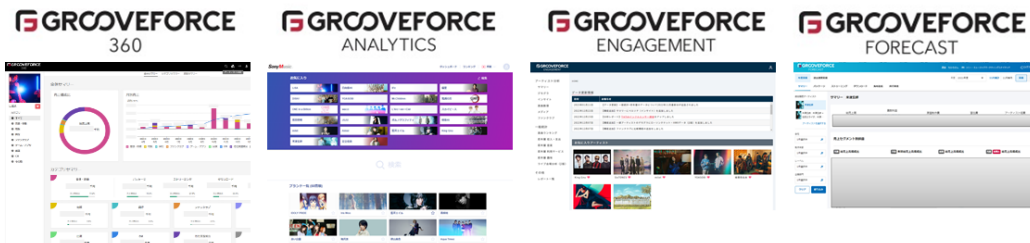
Monetize.

GROOVEFORCE ENGAGEMENT で扱うデータ活用事例

株式会社ソニー・ミュージックマーケティングユナイテッド様 / 株式会社DataCurrent様

GROOVEFORCEシリーズ 一覧

SonyMusic



IP売上可視化

SME(ES本部)が開発・運用
経営層/各会社代表・GMが利用

原盤売上可視化

SMMUが開発・運用
原盤に関連する全社員が利用

ファン層可視化

SME/SMMUが開発・運用
SML・SMMU・SMA全社員
SMS・ANXの一部が利用

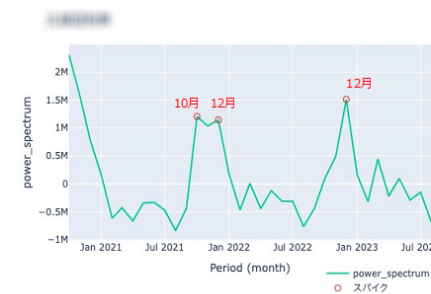
売上予測

SME(ES本部)が開発・運用
売上を管理する各担当者が利用

Sony Music Marketing United Inc.

季節性データから アーティストごとのピーク月を抽出

SonyMusic



季節性
から抽出

- ストリーミングデータからピーク時期候補を取得
- ピークが2回以上出現する月を「ピーク月」として抽出

抽出結果サンプル

アーティスト名	ピーク月
...	12月
...	8月
...	3月
...	12月
...	7月
...	8月
...	12月
...	11月

アーティストの最適なリリースタイミングを設定し
露出タイミングの検討材料に活用

Sony Music Marketing United Inc.

ファン層を可視化し分析

ファンの関心に基づくエンゲージメント向上施策や、最新トレンドや過去のヒット傾向からの楽曲制作支援、ファンの特性を捉えた効果的なプロモーション、分析作業の標準化・効率化を実現



ブースセミナー のご紹介



© 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/jpmne-interbee2023-aws-booth-seminars/>

Create.

バーチャルプロダクションにおける AWS 活用 – 事例と可能性 株式会社スタジオブロス様

事例：歴史探偵（NHK）

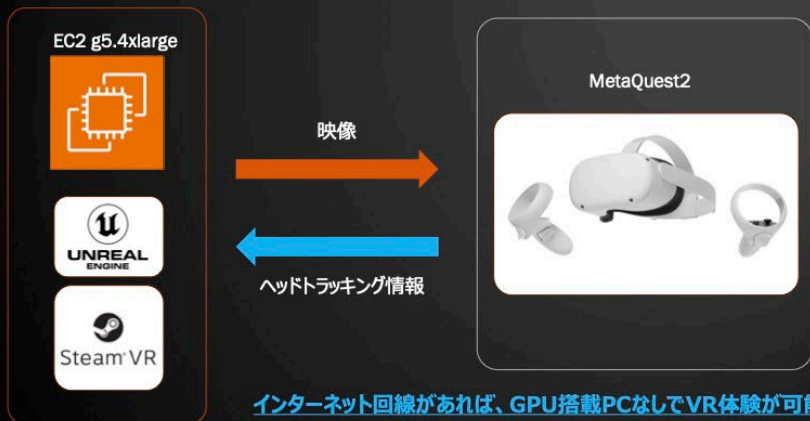
右図のように、ヘッドマウントディスプレイでVRコンテンツを閲覧し、そのVRゴーグルをしている人を更に、グリーンバック合成することで、あたかも視聴者とVR体験者が同じ映像を見ているように感じられるNHKの歴史番組です。



バーチャルプロダクションにおける AWS 活用 – 事例と可能性

株式会社スタジオブロス様

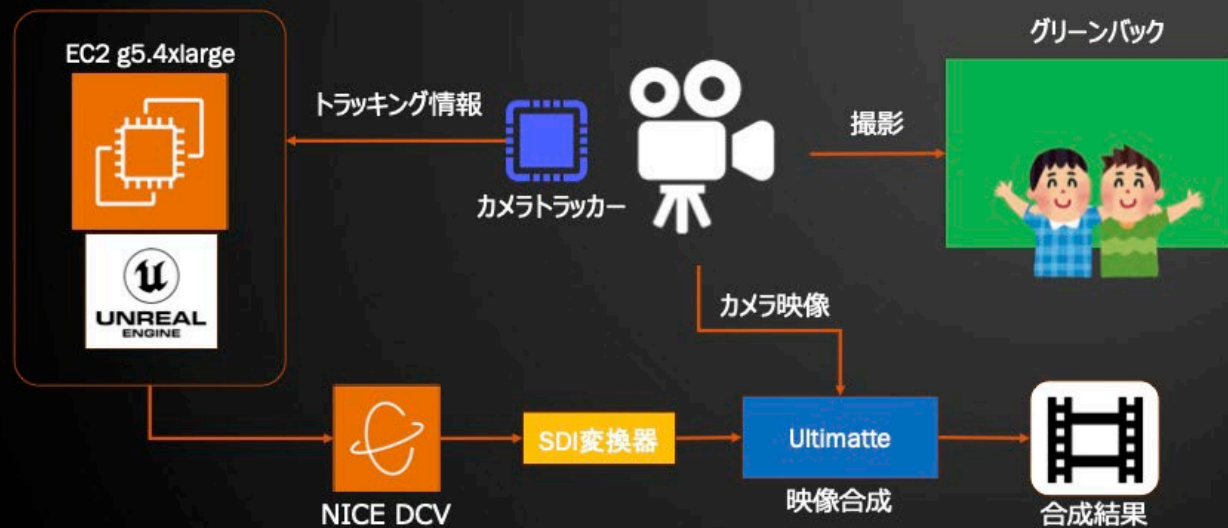
クラウドからMetaQuest2に直接映像を送信



23

STUDIO BROS

カメラのトラッキング情報をEC2で受け、出力、合成



24

STUDIO BROS

Create.

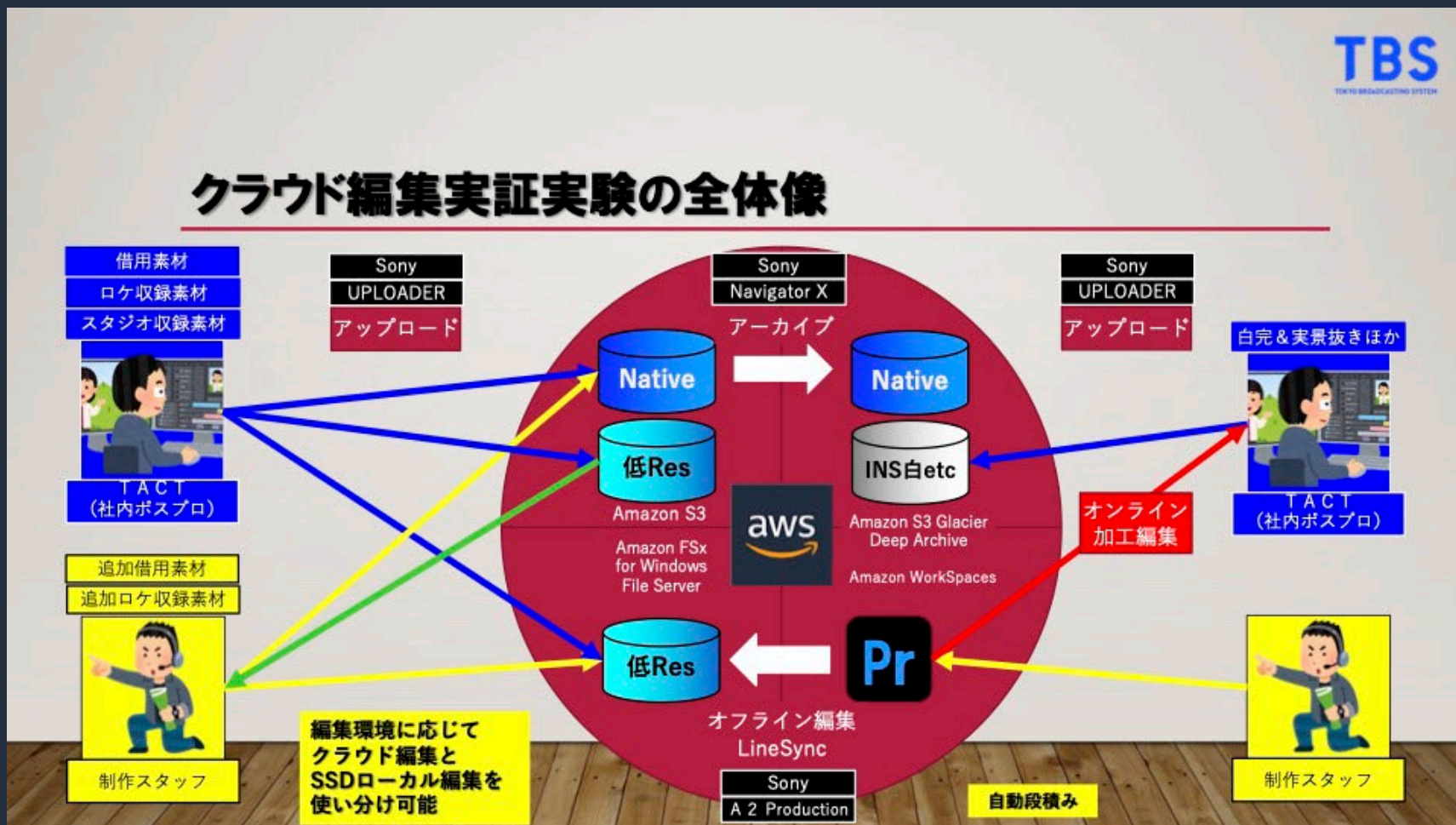
目指せ！収録⇒編集⇒アーカイブまで素材一元管理 TBSテレビコンテンツ制作局のこれまでの取り組み

株式会社TBSテレビ様 / 株式会社TBSアクト様 / ソニーマーケティング株式会社様

働き方改革

制作費の最適な再分配

新ビジネス創出

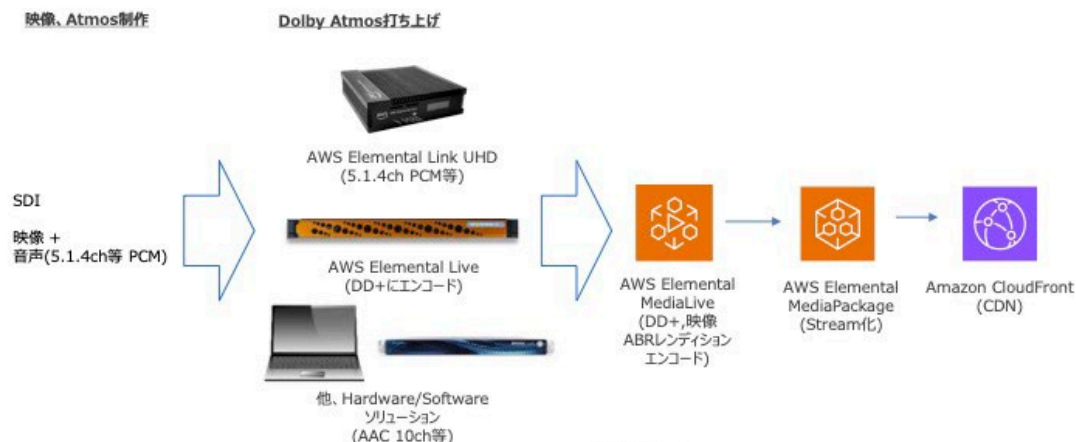


Deliver.

NeSTREAM LIVE AWS を活用した DOLBY ATMOS での高臨場感ライブ配信事例 メモリーテック株式会社様 / 株式会社クープ様 / Dolby Japan 株式会社様



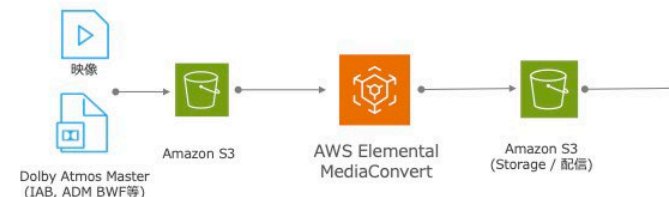
Dolby Atmosのライブ配信を実現するための、AWSの各種サービス



Copyright © 2023, NeSTREAM LIVE運営事務局 All rights reserved

16

AWS MediaConvertを使ったDolby Atmos VoD用エンコード



Copyright © 2023, NeSTREAM LIVE運営事務局 All rights reserved

18



Monetize.

ABEMA ライブイベント配信におけるパーソナライズ広告挿入について 株式会社AbemaTV様

スポーツなどの試合に対応できるように新しく「ライブイベント」という放送形態を導入
AWS Elemental MediaTailor をパーソナライズ基盤として採用

パーソナライズド広告導入における AWS Elemental MediaTailor のメリット

既存アセットとの親和性

AWS Elemental 製品と統一
できたことにより、

ログや運用構成の一元化、
映像品質における信頼感など、メ
リットを実感できる場面が
多かった。

始めやすさ

広告挿入単位の課金で
あるために、導入時の
コストインパクトが
ほぼなかった。
小さく初めて、
大きく広げやすいプロダクト
であった。

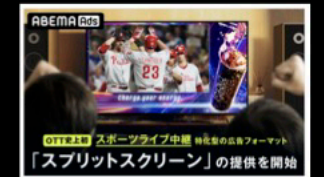
サポート体制

ニッチな要望でも、
状況に応じた
コミュニケーションや、
技術的な細やかなサポート
をいただける体制があった。

今後について

- サービス全体でのパーソナライズ化と広告在庫価値最大化を目指す
- アドフォーマットの拡充に期待

「ABEMA」、国内OTT史上初のスポーツライブ中継に特化した
スプリットスクリーン型広告「ABEMA Live Screen Ad」の提供を開始
<https://rad.abematv.co.jp/news/1406/>



➡ **ライブコンテンツの活性化と価値最大化を目指す**

ABEMA ライブイベント配信におけるパーソナライズ広告挿入について 株式会社AbemaTV様

既存アセットとの親和性

AWS Elemental 製品と統一
できたことにより、

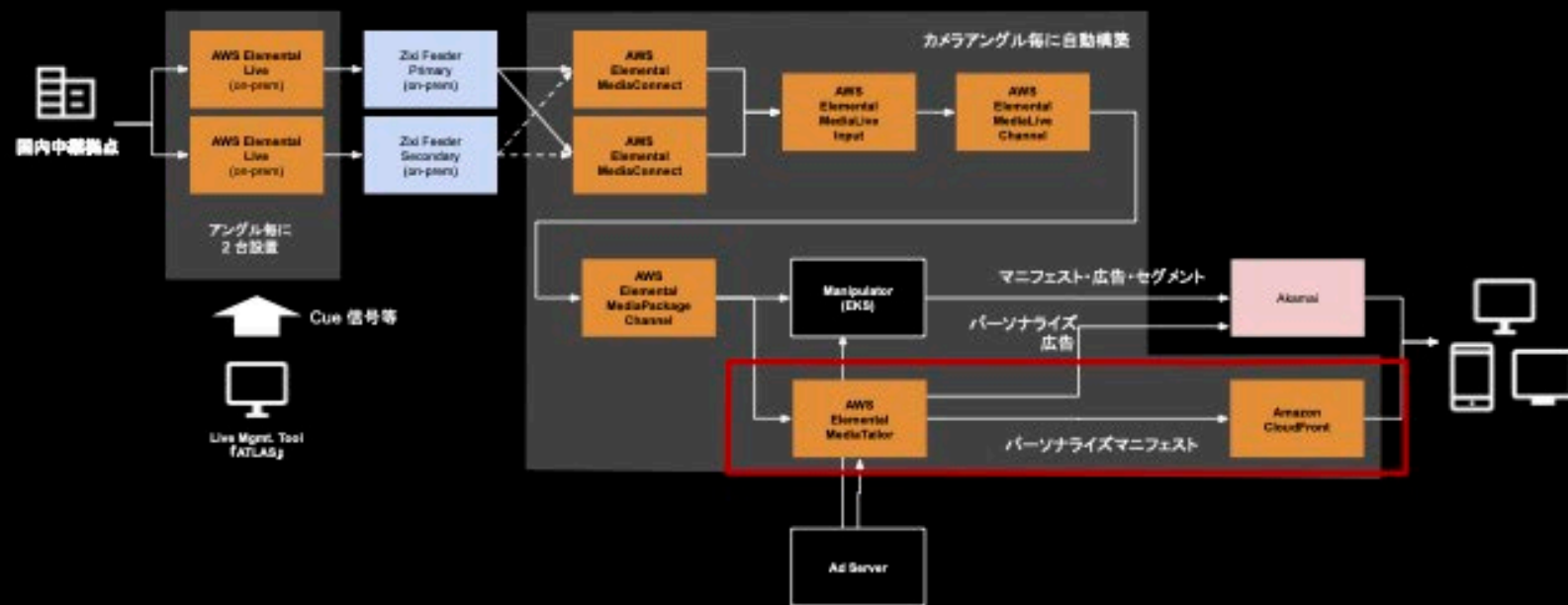
ログや運用構成の一元化

映像品質における信頼感

小さく始めて、大きく広げや
すいプロダクト

細やかなサポート

AWS Elemental MediaTailor の導入 - 導入後の状態





Thank you!